

リアルホサ



簡単で効果的な家庭の夕べ、
7ページ

家族会議で話し合う、
12ページ

リアホナ



表紙

表紙—絵/フィリス・ラッチ
裏表紙—写真/ウェルデン・C・アンダーセン、スティーブ・バンダーソン、クレーグ・ダイヤモンド、ラナ・リーシュマン、マーティン・マヨ、写真はイメージです。
「家庭の夕べによって生活を豊かにする」2ページ参照。



「フレンド」表紙

写真/©1999年アイワイアー社、写真はイメージです。



「フレンド」4ページを見ましょう。

一般

- 2 大管長会メッセージ—家庭の夕べによって生活を豊かにする
第二副管長 ジェームズ・E・ファウスト
- 7 実りある家庭の夕べ
- 12 家族会議—バラード長老夫妻との対談
- 18 イエスの言葉—十字架上で語られた言葉 地域幹部七十人 アラン・A・ペション
- 25 家庭訪問メッセージ—世の中の悪に対抗できるよう若人を備える
- 34 結婚を支える堅固な土台 プレント・A・バーロー
- 40 末日聖徒の声
待ち望まれていた雨 フアン・カルロス・ロドリゲス
主の日を尊ぶ デビッド・オスカー・サルミエント
あの男がハンドバックを盗みました レベッカ・トーマス
- 48 『リアホナ』2003年6月号の活用法

青少年

- 22 わたしの父親たち ローズマリー・デップ
- 26 福音クラシック—最大の幸福
- 30 世代間に橋を架ける シャンナ・ガズナビ
- 44 質疑応答—弟は、教会にあまり集わなくなり、家族からも孤立しています。弟に手を差し伸べ、愛を伝え、祝福を分かち合いたいと願っていますが、どうしたらよいでしょうか
- 47 御存じでしたか？

フレンド

- 2 預言者の声—たがいに愛し合いなさい
第一副管長 トーマス・S・モンソン
- 4 分かち合いの時間—わたしはかみの計画を知っています
ビッキー・F・マツモリ
- 6 新約聖書ものがたり—イエスはふっかつされた
- 12 アイザックのお話—ドーン・ネルソン
- 15 特別な証人—天父の計画
十二使徒定員会
リチャード・G・スコット長老
- 16 しんでんカード

7ページ参照



末日聖徒イエス・キリスト教会公式機関誌(日本語版)

大管長会:ゴードン・B・ヒンクレー, トーマス・S・モンソン, ジェームズ・E・ファウスト

十二使徒定員会:ボイド・K・バックナー, L・トム・ベリー, デビッド・B・ヘイト, ニール・A・マックスウェル, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オックス, M・ラッセル・バラード, ジョセフ・B・ワースリン, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, ヘンリー・B・アイリング

編集長:デニス・B・ノイエンスバウンダー

顧問:J・ケント・ジョリー, W・ロルフ・カー, スティーブン・A・ウェスト

実務運営ディレクター:デビッド・L・フリッシュニコト

編集ディレクター:ビクター・D・ケープ

グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーク

編集主幹:リチャード・M・ロムニー

編集主幹補佐:マービン・K・ガードナー, ビビアン・ポールセン, ドン・L・サール

編集スタッフ:コレット・ネベカー, オース, スーザン・バレット, ライアン・カー, リンダ・ステール・クーパー, ラリーン・ポーター, ガート, ジャナ・ガスナビ, ジェニファー・L・グリーンウッド, リサ・アン・ジャクソン, キャリー・カステン, メルビン・リービット, メリン・ミンソン, サリー・J・オデカーク, アダム・C・オルソン, ジュディス・M・パーラー, ジョナサン・H・スティーブンソン, レベッカ・M・テラー, ロジャー・テリー, ジャネット・トーマス, ポール・バンテンバーク, ジュリー・ワーデル, キンバリー・ウェブ, モニカ・ウィークス

実務運営アートディレクター:M・M・カワサキ

アートディレクター:J・スコット・クヌーセン, スコット・パン・カンペン

制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ

デザイン・制作スタッフ:フェイ・P・アンドラス, C・キンボール・ポット, ハワード・ブラウン, トーマス・S・チャイルド, レジナルド・J・クリステンセン, プレント・クリステンソン, シャリー・クック, ケリー・リン・C・ヘリン, キャスリーン・ハワード, デニス・カービー, タッド・R・ピーターソン, ランドール・J・ピクストン, マーク・W・ロビンソン, ブラッド・ティアー, カリ・A・トッド, クラウディア・E・ワーナー

マーケティング部長:ラリー・ヒラー

印刷ディレクター:クレグ・K・セジウィック

配送ディレクター:クリス・T・クリステンセン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振替口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30

電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約2,400円(送料共)

半年予約1,200円(送料共)

普通号/大会号200円

「リアホナ」への投稿およびご質問は、下記の連絡先にお送りください。
Room 2420, 50 East North Temple Street, Salt Lake City, UT 84150-3220, USA Eメール: cur-liahona-imag@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アイスランド語, アルバニア語, アルメニア語, イタリア語, インドネシア語, ウクライナ語, 英語, エストニア語, オランダ語, 韓国語, カンボジア語, キルギス語, クロアチア語, サモア語, シンハラ語, スウェーデン語, スペイン語, スロベニア語, セブアノ語, タイ語, タガログ語, タヒチ語, タミル語, 中国語, チェコ語, テルグ語, デンマーク語, ドイツ語, トンガ語, 日本語, ルウエー語, ハイチ語, ハンガリー語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ブルガリア語, ベトナム語, ポーランド語, ポルトガル語, マーシャル語, マダガスカル語, モンゴル語, ラトビア語, リトアニア語, ルーマニア語, ロシア語。(発行頻度は言語により異なります。)

©2003 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。

印刷所:日本

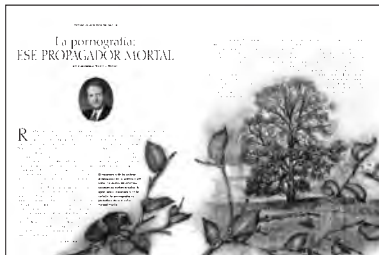
英語版承認—1996年8月 翻訳承認—1996年8月

原題—International Magazines June 2003. Japanese. 23986 300

For Readers in the United States and Canada:

June 2003 no. 6 LIAHONA (USPS 311-480) Japanese (ISSN 1521-4729) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 East North Temple, Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$15.50 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah, and at additional mailing offices. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions and queries to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.



ボルノグラフィという病を根絶する

『リアホナ』(スペイン語版)はすばらしく、霊を鼓舞してくれます。また、光と理解力を与えてくれます。教会員ではない人々も多く読むので、会員としての心構えを変える助けにもなります。

2001年11月号のトーマス・S・モンソン副管長による大管長会メッセージ「魔の運び屋——ボルノグラフィ」には、この世からボルノグラフィを根絶するためのすばらしい勧告が載っていました。わたしはすべての指導者のために祈っています。そして指導者の勧告があることを天の御父に感謝しています。

アルゼンチン・オラン地方部,
オラン支部
ジャシント・フェリペ・アムーチョ

幸福

悲しみに暮れるときには、惜しみなくすべての人に与えてくださる天の御父に祈るべきです。わたしはいつも幸せであるよう祈っています。また、バプテスマを受けて末日聖徒イエス・キリスト教会の会員になったことをとても幸福に思います。この地上の生活で、たとえ多くの試練に遭うことがあっても、天の御父の律法に従順であるなら永遠の幸福を得られると知っています。

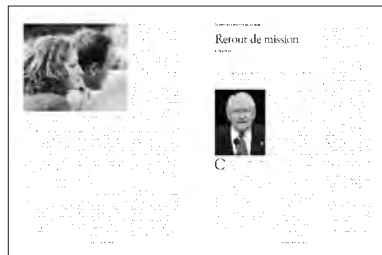
周りの人々を助けられることは無限の喜びです。また、ワード伝道主任として奉仕できることもとても幸せに感じます。

バプテスマを行うために母の名前を神殿に提出したとき、亡くなった人々が福

音の儀式を受けられるよう助けることで、大きな幸福を得られることに気づきました。

福音に従って生活するなら、最後には幸せになれるのです。

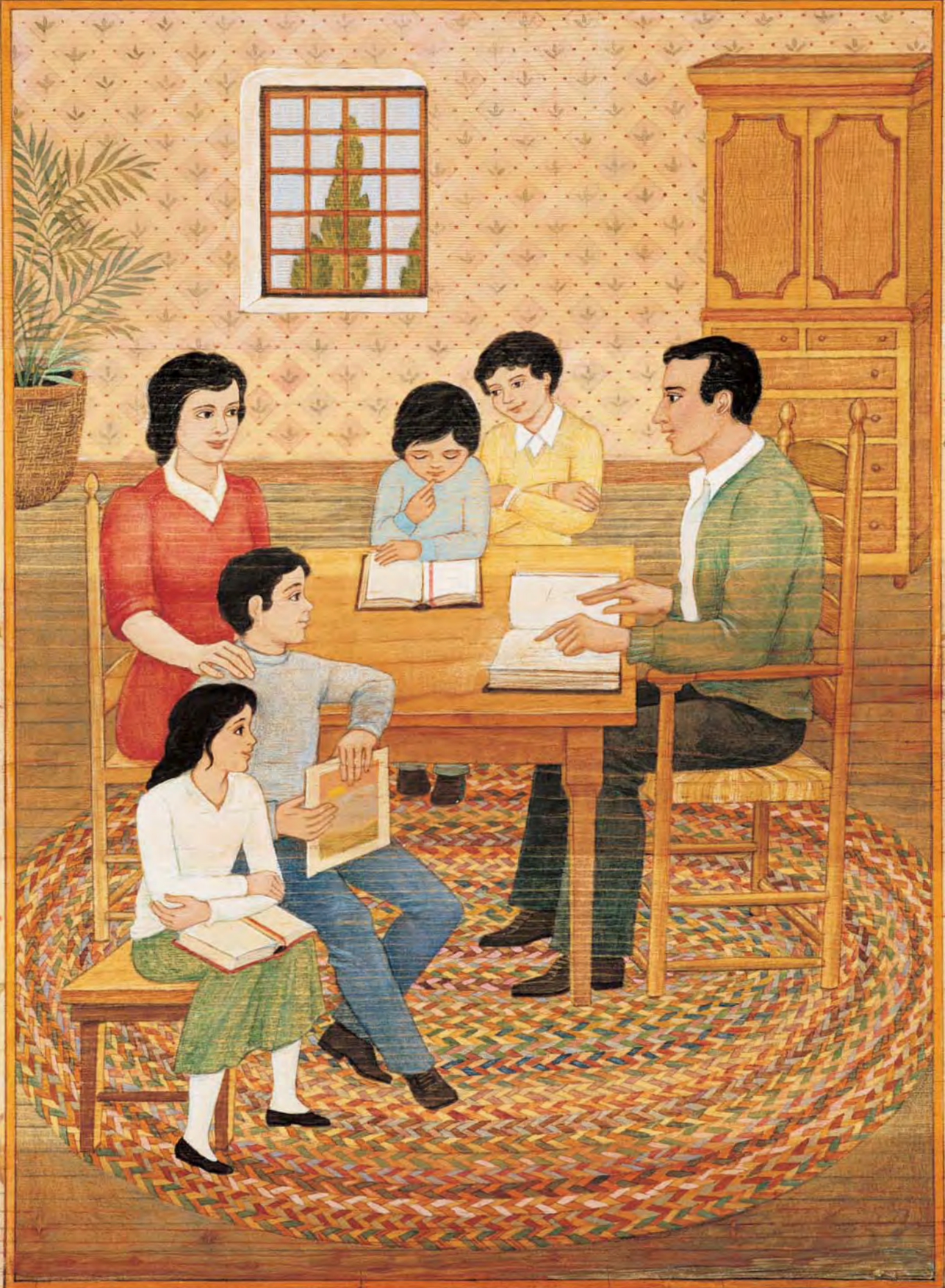
ブラジル・コンタジェムステーキ,
コンタジェム第1ワード
ジェラルド・マジェーラ・ピント



「帰還宣教師」

わたしは専任宣教師として奉仕する間、一日の準備やレッスンのために常に『リアホナ』(フランス語版)を活用しました。つらい時期には、『リアホナ』を通して勇気づけられました。今も引き続き助けられています。2002年1月号のL・トム・ベリー長老の「帰還宣教師」という話は、わたしの生活に大きな影響を与えてくれました。わたしはホームティーチャーの召しを果たすことで、地元において教会の発展に貢献する責任があることを知りました。

コンゴ民主共和国ルブンバシステーキ,
ゲカミネス第1ワード
ジャスティン・ムクナ



家庭の夕べ

によって生活を豊かにする

第二副管長

ジェームズ・E・ファウスト

若いころのことですが、J・ルーベン・クラーク副管長（1871-1961年）が、教会には一致が必要だと繰り返し説くのを聞きました。クラーク副管長は次の主のメッセージをよく引用しました。「わたしはあなたがたに言う。一つとなりなさい。もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない。」（教義と聖約38：27）教会における一致は常に家庭での一致を反映しています。家庭での一致をはぐくむうえで最も重要な方法の一つは、家庭の夕べを定期的に開くことです。年齢や結婚しているかどうかにかかわらず、また家に幼い子供がいるか、皆巣立って行ったかにかかわらず、家庭の夕べによって家庭での一致と愛が深まります。家庭の夕べはあらゆる人のためにあるのです。

安定した、強い家族

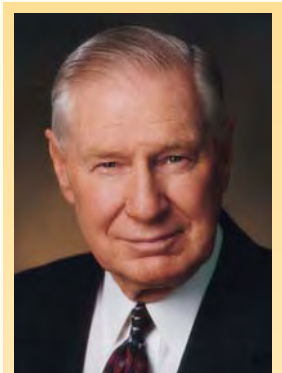
ある人は、今日なぜこれほど多くの家庭が弱体化し、なぜこれほど多くの家族が崩壊しているか疑問に思っています。理由は複雑です。今日の社会に見られる様々な混乱に大いに関連があることは疑うべくもありません。人は皆、きらめくような、魅惑的な偽りの宣伝にさらされています。また暴力も至る所で生々しく描かれています。利己心を満足させ

ることや手軽に欲求を満たすことが、容認し得るどころか尊敬に値する行為だとさえする風潮が、今の社会には広まっています。度を過ぎた飲酒が引き起こす悲劇が蔓延し、しかも薬物の乱用によって増幅されています。そして性の自由をうたう革命が家族の霊的、精神的、肉体的な健康を台なしにしています。

強い家族がある一方で、弱い家族があるのはなぜでしょうか。理由はきわめて複雑です。しかし答えはあります。数え切れない実例から分かるのは、しっかりした、しかも愛に満ちた父親が家庭にいと、父親不在の場合や、父親が家庭での務めを果たしていない場合よりも、責任感のある、法律を守る子供たちを生み出す見込みがはるかに高いということです。どちらにしても、父親がその役目を果たしていないと、母親の重荷は2倍になります。

家庭で父親が積極的に役割を果たし、両親のうち少なくともどちらかが活発な教会員であり、またきちんとしたしつけと福音の学習が行われていること、これが安定した強い家族を生み出す要素のようです。

家族が崩壊する話を聞くと、家庭の夕べや家族の祈りを定期的に行っていたのだろうかという疑問に思います。確かに、この教会の会員が家庭で幸福をはぐくむには、神とその福音に対し強い信仰と決意を持って生活すること



家庭の夕べで神への献身が培われることによって、家族の霊的な土台が強められ、安定します。そのような土台は、家族や個人が人生の諸問題に立ち向かううえで助けとなります。

が第一です。家庭の夕べを行うとき、賢明で成熟した両親の監督の下で、こうした決意が子供たちの心の中に培われていくのです。夫婦は福音の原則を理解し実行するうえで、お互いを強め合い、支え合うことができます。また独身会員は、神権指導者の指示の下に小さなグループで集まって、福音に関して討論したり、適切な活動をしたりすることができます。このような集まりの中で神への献身が培われることによって、家族の霊的な土台が強められ、安定します。そのような土台は、家族や個人が人生の諸問題に立ち向かううえで助けとなります。このように言うと、非常に複雑な問題を簡単に解釈しすぎていると言う人がいるかもしれません。しかしわたしは、回復されたイエス・キリストの福音の中にこそ、解決の方法があると信じてやみません。

一致を築く家庭の夕べ

では、家庭の夕べを通して神に仕える決意を強め、一致と愛を築く方法を提案したいと思います。

1. **祈る。**個人と家族の非常に大きな力がどこから来るかは、はっきりしています。神から授けられるのです。人生の様々な問題に対処できるように、中毒性のある薬物やアルコールに頼る必要はありません。ただ謙遜な祈りを通して、絶えず神聖な源から力を得ればよいのです。



ともに過ごす時間
間は貴重です。
勇気づけ、事を
処する方法を教える
時間が必要です。

家庭の夕べに全員を集めるには、しばしば超人的な努力を要するのではないかと思います。やっとのことで全員が集まったときには、もう祈る気持ちになれないこともあるでしょう。でも忍耐して続ければ大きな祝福があります。

2. **神聖な音楽を歌い、聴く。**教会の賛美歌や子供の歌を歌うならば、家庭の夕べに聖なる御霊を招くことができます。主はこう言われました。「義人の歌はわたしへの祈りである。それに対する答えとして、彼らの頭に祝福が注がれるであろう。」(教義と聖約25:12)

3. **聖文を学習する。**人は皆、聖文を読んで得られる力を必要としています。両親は子供に教えるために、標準聖典にかかわる知識を得なければなりません。家庭の夕べで話し合いを導く人は、レッスンで聖文を活用できるようによく準備しておく必要があります。子供が聖文から教えを受けるとき、貴重な遺産を受け継ぐこととなります。わたしたちは皆、聖文の中で繰り広げられた英雄の話に接するとき、強められます。例えば、ライオンの穴にほうり込まれたダニエル、ダビデとゴリアテ、ニーファイ、またヒラマンと若い勇者たちの話など、たくさんあります。

4. **一緒に働き、人に奉仕する。**子供は働くことを覚える必要があります。どの家庭にも、日々の家事のうちで子供に任せられるものがあることでしょう。家庭の夕べの時間にも、よく計画された、家族や近所の活動を通じて有意義な奉仕ができます。

5. **規律と従順をはぐくむことに焦点を当てる。**親が子供をしつげず従順を教えなければ、親も子供も好まないようなやり方で社会が子供をしつげなければなりません。また大人が自ら規律を守り、周囲に正しい模範を示さなければ、その結果は自身にも社会にも荒廃をもたらすことになります。家庭と個人の生活に規律と従順がなければ、家族内の一致は崩れ去ってしまうのです。

6. **互いへの忠誠を優先的に考える。**辞書では、この「忠誠」という言葉を「忠節を尽くすべき親しい人に対して





誠実であること』¹と定義しています。家族に対して忠誠心を持っていない人は、自分に対しても忠誠でなくなります。

7. 自尊心を築く。今日の社会に存在する大きな問題の一つは、家族でともに過ごす時間がますます少なくなっていることです。一部の家族は、一緒にいるときですら、非常に多くの時間をテレビを見るのに費やしていますが、これは、自尊心をより高める個人の時間を奪っていることとなります。家庭の夕べを開くならば、それは個人と家族が親として、また子供、兄弟姉妹、^{はんりょ}伴侶、友人として語り合い、耳を傾ける大切な時間となるのです。ともに過ごす時間は貴重です。勇気づけ、事を処する方法を教える時間が必要です。一緒にいる時間が少ないと孤独になり、自分は家族から何の助けも受けていない、大切にされていない、無力であるという気持ちを抱くようになりかねません。

8. 家族の伝統をはぐくむ。家族の偉大な力は、その家族が築き上げた伝統の中に見いだされます。そうした伝統は子供の祝福やバプテスマ、神権への聖任、誕生日などを家族にとって特別な機会にすることによっても築かれます。釣りに行く、クリスマスイブのスキットを楽しむ、といった伝統的な活動をするとき、一緒に過ごした懐かしい

思い出が残っていくのです。毎週の家庭の夕べも、伝統をはぐくむ機会となります。どんな人が集まる家庭の夕べでも、定期的に行う活動と、特別な機会や達成した事柄をどのように祝うかによって、同じように伝統を築き上げることができるのです。

9. あらゆることを愛の精神で行う。十二使徒定員会会員であったリグランド・リチャーズ長老（1886-1983年）は、父親との心温まる間柄を次のように語っています。「父が90歳のころですが、わたしは父のアパートに入って行きました。……ドアを開けると、父は立ってわたしの方に歩み寄り、腕を回してわたしを抱き締め、キスをしてくれました。父はいつもそうしました。……わたしを抱いて、子供のときの呼び名を使って、こう言ったのです。『わたしの子、グランディー、愛しているよ。』」²

中には言葉や行いでうまく愛情を表現できない親もいます。わたし自身は、父の口から「息子よ、愛しているよ」という言葉を聞いた記憶がまったくありません。しかし父はその気持ちを、数えられないほど多くの方法で、言葉より雄弁に示してくれました。父は子供たちが参加する練習やゲーム、レース、活動にはほとんど顔を出していました。



家庭の夕べに
おいて、
夫婦は福音の
原則を理解し
実行するうえで、
お互いを強め合い、
支え合うことが
できます。

母親が家庭にいと、家庭は温かく快適で、心地よい場所となります。ですから妻や母親は、夫や子供たちから特別な支えを受けるべきなのです。ジョージ・アルバート・スミス大管長（1870-1951年）は、夫と父親への説教の中でこう言いました。「女性の責任は、男性が集会に出席している間に家庭を守ることだと考えている人がいるようです。皆さんに申し上げます。皆さんの主たる責任は家庭の中にこそあるのです。」³

家庭の夕べは忍耐と互いへの尊敬をはぐくむ時間です。親子や夫婦、兄弟姉妹、親族の中に恨みや怒りが生じることのないように心がけましょう。ワードや支部の全会員の中に一致と愛が宿るように努めましょう。感情のもつれや不一致が顔をのぞかせたら、すぐに解決するようにしてください。温かい、愛に満ちた家庭生活から生まれる豊かな人間性がすべての場所に浸透するように願っています。

あらゆる人のために

わたしが疑問に思うのは、計画せずに家庭の夕べを開いたり、不定期に行ったりして、現代のチャレンジに立ち向かう十分な道徳的強さを自分自身と子供たちが得られるだろうか、ということです。定期的に聖文を学んでいなければ、わたしたちの暮らす環境の道徳的退廃に負けないだけの徳高さを身に付けて自分自身と子供たちを守るには不十分でしょう。いったい家庭以外のどこで、純潔や高潔さ、正直、そして人としての基本的な礼節を学べるのでしょうか。もちろん、こうした価値観は教会でも強調できます。しかし、家庭の夕べで教えるならば、格段に着実に効果的です。この世の邪悪な影響力と戦うには、家庭の夕べから得られる強さが必要なのです。

1976年、大管長会は次のように宣言しました。

「家庭の夕べはあらゆる人のために用意されています。両親と子供がいる家族、ひとり親の家族、また子供たちが育ってしまった両親のためにあります。独身会員のグループや、一人で住んでいる人、ルームメイトと暮らしている人々のためでもあります。……

家庭の夕べに定期的に参加するならば、自分を含む家族一人一人を大切に思う気持ちが増し、家族の一致と隣人へ

の愛、天の御父への信頼が培われるでしょう。わたしたちは約束します。毎週、家庭の夕べをまじめに計画し、実行するすべての人には大いなる祝福が注がれるでしょう。」⁴ この約束は、ほぼ30年前と同じく、今日も真実であることを証します。

家庭の夕べを推進するなら、家庭は豊かになり、ワードと支部は発展し、栄え、生活は聖められます。そして、地獄の門もわたしたちに打ち勝つことはないでしょう。■

注

1. Merriam-Webster's Collegiate Dictionary, 第10版 (1996年), 691
2. Conference Report, 1967年10月, 111-112
3. 七十人とステーキ宣教師の大会, 1941年10月4日, 8
4. Family Home Evening: Happiness through Faith in Jesus Christ (1976年), 3

ホームティーチャーへの提案

よく祈って準備した後、あなたが教える人々の参加を促すような方法を用いて、このメッセージを分かち合ってください。次に挙げるのはその一例です。

1. これまで参加した中で、強く印象に残った家庭の夕べについて話す。あなたが教える人々にも同じことをするよう勧める。ファウスト副管長の9つのガイドラインと一緒に読み、考える。あなたが教える人々が、家庭の夕べのうまくいっている点と改善したい点を認識できるように助ける。

2. 「家庭の夕べはあらゆる人のためにあります」と書いた紙を家族に見せる。ファウスト副管長のメッセージと一緒に読み、どうしてだれでも家庭の夕べに参加する必要があるのか話し合う。家庭の夕べから得た祝福について証を述べる。

3. 今月号の中から、家庭の夕べに関するほかの記事を採り上げ、話し合ってもよい。

実りある



わたしたちは身近にある様々な福音の資料から、
簡単でありながら効果的な家庭の夕べのレッスンを作り出すことができます。

家庭の夕べの計画を始めるときに、あなたの最初の質問はこれでしょうか。「どんなレッスンをしたらいいだろうか。」もしそうなら、この先を読み進めてください。

教会機関誌では、実りある家庭の夕べを開くアイデアを募集しました。皆さんの家族に役立つ簡単なレッスンのアイデアや手順を以下に幾つかご紹介します。

感謝を表す

生活の中の恵みに感謝するだけで、家庭の夕べはとてもいいものになります。これは年に何度かすると効果的でしょう。アイダホ州バーレイステーク、バーレイ第10ワードのジェームズ・ピーターソンとケリー・ピーターソンは、そのようなレッスンを楽しみました。ピーターソン姉妹は次のように書いています。「ある週のことですが、思いがけないチャレンジと驚くような祝福を経験しました。そこで家族で座り、感謝している事柄について話し合ったのです。最初に出たのは、『家庭』や『食物』のような単純なものでした。やがて、当たり前のように受け止めていたことがたくさんあると気づくようになりました。そして主か

らどれほど多くの祝福を受けてきたか理解したのです。感謝の気持ちを表したとき、家庭は温かいものに満たされました。それは感謝の精神であり、慰めと安らぎの気持ちでした。わたしたちはその晩、天の御父と家族一人一人をととても身近に感じました。それは最も心に残る家庭の夕べの一つでした。」

聖文を読む

聖文を読んで、同時に個人の証^{あかし}を述べることにより、家庭の夕べのレッスンは必ず霊的なものになります。コンゴ民主共和国キンシャサ・マシーナステークのヌガバワードに所属するジュールズ・コン・ボファンガとジュディス・コン・ボファンガ夫妻は、聖典を使って家族をうまく一致させることができました。ボファンガ姉妹はこのように書いています。「わたしたちは家庭において、天の御父をもっとよく知るようになります。家庭の夕べに感謝しています。チャレンジは決してなくなりません。ですから、わたしたちは祈りと聖文の勉強を通して御父に心を向けるのです。聖文を通して知識を得ただけでなく、愛し合い、仕え合うことも学びました。」



一緒に賛美歌を歌う

歌い慣れた賛美歌は、家庭の夕べのレッスンで基本教材として手軽に使えます。家族で賛美歌を歌ってから、歌詞や参照聖句を読んで話し合うことができます。教会賛美歌CD-伴奏のみ(50866)や『子供の歌集』のCD(50177 300)とカセットテープ(52538 300)は、賛美歌を覚えたり歌ったりするのに役立ちます。こうした音楽CDやカセットテープは配送センターから入手できます。

アリゾナ州プレスコットステーク、ブラッドショーワードのウェンディ・M・ミトシカ姉妹は、子供のころにそのような賛美歌を使ったレッスンがあったことを覚えています。「母がピアノを弾いて、わたしたちは何曲も何曲も歌いました。『主はわが飼い手』を歌ったとき、御霊を強く感じて涙があふれました。そのメロディーはわたしの心に残り、後にギターで演奏できるようにもなりました。現在では、つらい状況に陥ったとき、子供のころに覚えた賛美歌がわたしに安らぎと喜びを運んでくれます。」

日記の内容を分かち合う

家族や先祖の日記に霊的な経験や証が記されていれば、だれもがそれを聞くことで恩恵を受けるものです。家庭の夕べで日記を書きましょう。また、適切であれば何を書いたか一緒に読んでみるのです。

ユタ州エスカランテステーク、キャノンビルワードに所属するラモーナ・モリエール姉妹は、家庭の夕べで自分の日記を読んで聞かせたときの特別な経験について書いています。「わたしは自分の日記から、子供たちに関することや、子供たちが幼いころに言ったこと、したことでおもしろい場面を読みました。間もなく家族全員が笑っていました。子供たちから『日記』のレッスンをもう一度するようによくせがまれます。また、先祖の日記から霊的な経験を読むこともあります。これは大き

な喜びとなりますし、先祖について知ることもできます。」

教会機関誌を使う

教会機関誌には、家庭の夕べのレッスンに使える福音の資料とアイデアが数多く掲載されています。ある読者はこう書いています。「大管長会メッセージと家庭訪問メッセージにはたくさんの引用や質問があり、それらを使えばすばらしいレッスンができます。わたしたちの家族は、『末日聖徒の声』の話や、『質疑応答』の質問を読んで話し合うのも好きです。」

各機関誌の終わりの方には、福音のテーマごとに分けた索引があります。家族で一つのテーマを選び、そのテーマに関する記事を読んで話し合ってみてください。小さな子供がいる家族のために、「分かち合いの時間」の記事にも活動のアイデアが載っています。青少年は『リアホナ』に載っているポスターと同じ言葉を使って、独自の作品を作ってもよいでしょう。

物語を聞かせる

オーストラリア・ブリスベーンステークのキャンプヒルワードに所属するキャサリン・マレット姉妹は、物語の持つ力を見いだしました。「我が家には幼い子供がいて、家庭の夕べで子供たちの興味を引きつけておくことに難しさを感じていました。導きを求めて祈った結果、毎月異なる徳に焦点を当てることにしたのです。最初のテーマとして正直を選びました。そのうちにたくさんのアイデアがわいてきて、子供たちと一緒に正直について物語を作り始めたのです。どんな物語にも架空の子供を作り上げて登場させました。様々な状況を作って良い選択と悪い選択の結果について考えるのは楽しいものでした。

雨の中に出したままにしてある自転車や悪い言葉遣いなど、何か対処する必要があるときには、どのような徳が当てはまるか話し合います。そして例の架



歌 い慣れた
賛美歌は、
聖典の物語
を演じるのと同じ
ように、家庭の夕べ
のレッスンで
基本教材として
手軽に使うことが
できます。



空の子供を使って物語を作るのです。もちろん、これらの物語は、望ましい価値観について教える一つの方法にすぎません。聖文や教会の資料が、福音を教える際の基盤となります。』

順番に教える

カリフォルニア州ヘメットステーク、ラモーナ（スペイン語）支部のビクター・メンドサとスサナ・メンドサは、教える機会を順番に持つことが、レッスンに新しい風を吹き込む良い方法であることを知りました。メンドサ姉妹はこう書いています。「わたしたちの家庭の夕べはとても楽しいものです。子供たち一人一人が順番に、家庭の夕べをもっとおもしろくする方法を考え出すのです。例えば、ビクター・ダニエルは招待状を作って、時間までに集まれるように前もって配ってくれます。ジャスミンはレッスンを終えるとき、注意を向けてくれたことに対して達成証を渡すのです。メリッサはセミナーで学んだ興味深い話をしてくれます。

最初は簡単ではありませんでしたが、わたしたちは主を信じました。そして主は助けてくださったのです。家庭の夕べを開くことは、結婚生活だけでなく家族も強めてくれたことを証します。わたしたちの愛のきずなは毎週強められています。イエス・キリストが道

を示してくださり、家庭と心に御霊を注いでくださることに感謝しています。』

毎週集まる

家族は、頻繁に一緒に過ごすことによって一致することができます。フィリピン・クエンゾンシティー南ステーク、キリーノ第2ワードに所属するアルフレッド・オビアルとティタ・オビアルには、5人の子供がいます。「永遠の家族になりたい」とオビアル姉妹は書いています。「わたしたちは定期的に家庭の夕べを開いて、才能を分かち合い、福音の原則を学び、楽しい活動を行います。家族会議を開いて必要な事柄について話し合い、家族の決まりを作ることもあります。教会が提唱する家庭の夕べのプログラムに感謝しています。家庭の夕べは家族を互いに近づけるだけでなく、一人一人を天の御父に近づけてくれるのです。』

この何家族かが経験したように、靈感を求めて祈り、元気を出して（教義と聖約78：18参照）、定期的に集まり、音楽、祈り、個人の証で御霊を招くならば、家庭の夕べはすべての人の生活に祝福をもたらします。とりわけ、レッスンを準備することが家庭の夕べを開く妨げとならないようにしましょう。時には、最も簡単なレッスンが最高のレッスンとなるのです。■



家族や先祖の
家日記に
霊的な経験
あかし
や証が記されて
いれば、だれもが
それを聞くことで
恩恵を受けるもの
です。





簡単に準備して 簡単にレッスンしましょう

どんな福音のテーマでも家庭の夕べのレッスンに採り上げることができます。次に挙げた3つの簡単なステップに従って行ってみましょう。

1. A欄にある福音の教材から一つ選ぶ。
2. レッスンを簡潔にするために、テーマを一つに絞る。
3. B欄にある教授方法を使って、レッスンを組み立てる。

A

以下に挙げたものをはじめ、教会の配送センターから多くの教材が入手できます。

1. 聖典
2. 総大会説教(教会機関誌, 教会の公式ホームページwww.lds.orgを参照)
3. 教会機関誌の記事
4. 『賛美歌』(カタログ番号34832 300)
5. 『家族——世界への宣言』(『聖徒の道』1998年10月号, 24参照)
6. 扶助協会の宣言(『リアホナ』2000年1月号, 110参照)
7. 『若人の強さのために』(カタログ番号36550 300)
8. 若い女性信条カード(カタログ番号35224 300)
9. 『アロン神権——神への務めを果たす』に記されているアロン神権の目的(カタログ番号36676 300, 36677 300, 36678 300)
10. 『わたしの達成の日』に記されている「わたしの福音の標準」(カタログ番号35317 300; 『リアホナ』1999年4月号, フレンド7-8参照)

B

以下に挙げたものに加えて、『教師、その大いなる召し』(カタログ番号36123 300)あるいは『教師ガイドブック』(カタログ番号34595 300)も参考にしてください。

1. 質問をする(だれが、何を、どこで、いつ、なぜ、どのように)。
2. 絵、写真、図表、実物などを見せる。
3. 歌を歌う。
4. 作文を書く。
5. 証を述べる、あるいは、個人的な経験を話す。
6. 大切な点をホワイトボードや黒板、あるいは紙に書いて、話し合う。
7. 聖句を暗記する。
8. 絵を描く。
9. 物語を演じる。
10. 教会のビデオを見る。

家族 会議



バラード長老夫妻との対談

M・ラッセル・バラード長老とバーバラ夫人に、
家族がより霊的になり、また仲良く、
それぞれの役割をよく果たせるようになるうえで
家族会議がどのように役立つかを
話してもらいました。

19 94年4月に開かれた総大
会の説教の中で、十
二使徒定員会のM・
ラッセル・バラード長老は次
のように教えました。「中央
幹部に召される以前、わたし
は父親と同じように自動車業界
で仕事をしていました。そのた
め性能のよいエンジンの音を聞
き分け、動きを見分けられるよ
うになりました。静かなアイドル
リングの音から、スロットルを
全開したときの轟音まで、まっ
たく音楽を聞く感じがします。
そうした音が表すエンジンの力
は、さらに魅力的です。……

反対に、調子の悪いエンジ
ンの音を聞くときほどがっかり
することはありません。幾ら外装
が美しく内装が快適でも、エン
ジンの動きが正常でない車は、



**一部のシリンダー
しか作動していない
エンジンの車は、
正しく調整された
ときのような
スピードも出ないし、
走りも滑らかでは
ありません。
家族についても
同様のことが
言えます。**

本来発揮できるはずの機動力のない、ただの殻と同じです。シリンダーも一部しか作動せず、正しく調整されたときのようなスピードも出ないし、走りも滑らかではありません。」

次いで、バラード長老は、適切に調整された車を、よく機能しているワードやステークにたとえました。そして、教会の指導者たちに、「評議会を通して霊的な力を……受ける」ようにと勧めました。1

教会機関誌の記者は先ごろバラード長老夫妻と会見し、評議会制度を家族にどのように適用できるかについてお話を聞きました。バラード長老によれば、中には一部のシリンダーしか機能していないような評議会もあるということです。

問い——なぜ家族会議をそのように重視しておられるのですか。

バラード長老——世界は堅固で安全なものをかかってないほどに必要としています。その堅固で安全なものは、家族の愛という深い肥沃な土壌に種をまいて、世話をしてこそ確保できるのです。ところが家族は、悪魔のひどい攻撃にさらされています。闇が深まりつつある世界を照らす、家族の愛というこの力強い光の源をかき消そうと、悪魔は躍起になっているのです。実り多い家族を築くには様々な手段がありますが、その最も有益な手段の一つが家族会議なのです。

問い——家族会議は家庭の夕べとどのように違うのでしょうか。

バラード長老——家庭の夕べは交わりと教える時間で



す。それに対して家族会議では、家族全体に必要な事柄や、家族の一人一人に必要な事柄について話します。問題を解決し、家族みんなで何かを決め、家族の活動や目標について、毎日の計画や長期計画を立てる時間です。また、お互いの重荷や喜びを分かち合い、知恵を出し合って、家族一人一人を霊的に正しい道にとどめる時間です。監督や支部長がワールドや支部の指導者たちと話し合うように、家族の事柄について話し合う時間です。また、両親が評議会制度のすばらしい力を使う時間です。もちろん家族会議は家庭の夕べの中で行うことは可能です。しかし、家族会議はいつでも行えるものです。

バラード姉妹——わたしたちの7人の子供は順調に育ちました。それでも悩みや心配事があって、どのご家庭にもある不安や問題を避けて通ることはできませんでした。ですから家族会議が必要でした。わたしたちは何度も話し合い、よく祈りました。例えば、夫が伝道部長としてカナダのトロントで奉仕するように召されたとき、子供たちは必ずしもみんな行くのを喜んだわけではありませんでした。

バラード長老——行くのが嫌な子供たちは、トロントへ向かう途中、ずっと泣いていました。着いてからも2か月間、泣いていましたよ。

バラード姉妹——ええ、でも子供たちは精いっぱい努力しました。高校生の子供たちにとっては余計に大変でしたね。でも、何度も家族会議で、子供たちがどう感じているかを話し合いました。やがて、カナダでの生活がすばらしい経験になることを理解するようになったのです。

問い——家族会議をどのように定義づけられますか。

バラード長老——家族の二人以上が一緒にいて、話し合いになれば、それは家族会議です。親と子供が一对一で話すときも、あるいは両親と子供が何人かで話し合うときも、家族会議ができます。夫婦が語り合うときも、家族会議を開いていることになります。



**もしわたしが
家族に、「出て行って
草取りをしなさい」
と言ったら、
文句が出たり
機嫌を損ねたりかも
しません。
でも、「みんなで
決めたんだ」と
感じさせることが
できたら、
「家族会議」は実
にうまくいっている
わけです。**



全員一緒に

父親と母親が子供たちと一緒に座って、家族でやっていることといけないことのリストを考えるのが家族会議である、という伝統的な定義があります。しかし、わたしの場合、そういうふうによくいったことは一度もありません。リストを取り出した途端に、子供たちがそっぽを向いたのが分かったからです。それでわたしは、例えば庭の草取りなど具体的な問題を採り上げるようにして、家族に率直にこう尋ねました。「この問題について、どんなことができるだろうか。みんなはどう思う？」

親が問題解決に子供を参加させれば、そこに評議会が生まれます。そして、全員が一つの解決法に同意すると、全員が自分自身の問題であると受け止めるのです。もしわたしが家族に、「出て行って草取りをしなさい」と言ったら、文句が出たり機嫌を損ねたりするかもしれません。でも、「みんなで決めたんだ」と感じさせることができれば、「家族会議」は実にうまくいっているわけです。そうになると、親が何も言わなくても、子供は自分たちで計画を立て、「あなたはこれをやって。わたしはあっちをするから」と言うようになります。これが評議会の力なのです。

問い——家族会議を機能させるために、両親はまずどんな方法を取れますか。

バラード長老——両親はまず、子供たちの話を聞くこと

によって問題解決のプロセスに子供たちを引き入れる必要があります。例えば、家に帰ってみると、時々子供たちが部屋を片付けていなかったり、すべきことをしていなかったりということがありました。妻は7人の子供を育てるので精いっぱいでした。そこでわたしは、子供たちを集めて短い家族会議をしました。何をしたらよいかを話し合い、行動計画を作ったのです。行動計画についての話し合いは全員に影響を与えます。親の方であれこれ命令したり、すべきことを書き出したりすると、普通は抵抗があります。でも、一人一人が大切であって、どのような意見にも価値があるという穏やかで打ち解けた導き方をすると、子供たちは家庭の中で一種の霊的な相乗効果を生み出します。みんなの働きを一つにして協力すると、個人の力を集めた以上の結果が出るのです。

バラード姉妹——親子の打ち解けたコミュニケーションがとても大切です。話のできる年齢になったら、子供の話に耳を傾けるようにして、心に留めていることを示さなければなりません。今どのような状態で、生活の中で何か変えたいところがあるかを尋ねるのです。子供たちが眠りに就く直前が、家族会議にはちょうどいいようです。父親あるいは母親と子供一人だけかもしれませんが、そのひとときをとっても大切な家族会議とすることができます。家族会議を開くために全員が集合する必要はないのです。

バラード長老——柔軟性があるほど、威圧感がないほど、自然であるほど、効果的な家族会議が開けると、わたしは思います。どんな家族会議が理想かを子供たちに話させてください。親である皆さんがどう感じているかを話してあげてください。そうすると心が通い合い、教えることができるようになります。その言葉のやり取りは、いいかげんだったり、あるいは気のないものだったりしてはなりません。形だけのコミュニケーションでは、評議会は成り立ちません。率直で遠慮のないコミュニケーションでなければなりません。

問い——父親と母親は家族会議でどのように協力できますか。

バラード長老——神権者であり家族の長である父親には、物事を決める責任があります。ここで強調したいのは、権威という言葉ではなく、責任という言葉です。ですが、ある目的の下に家族みんなで引き出した決定であれば、その方がずっといいのです。

家族会議がうまくいく鍵となるのは母親ではないでしょうか。そう申し上げるのは、一般に、妻の方が夫よりも繊細で優しいからです。

娘が家に帰って来て、話をしたときのことを思い出します。何を話したかは覚えていませんが、後で娘は2階の自分の部屋に行ってしまいました。その後妻がわたしのところに来て、優しくこう言いました。「気づいていないと思うけど、あの子、あなたの言葉に傷ついたのよ。」

わたしは尋ねました。「傷ついたら？ わたしは何をしたって言うんだい。」わたしには思い当たることはありません。すると、妻は説明してくれました。

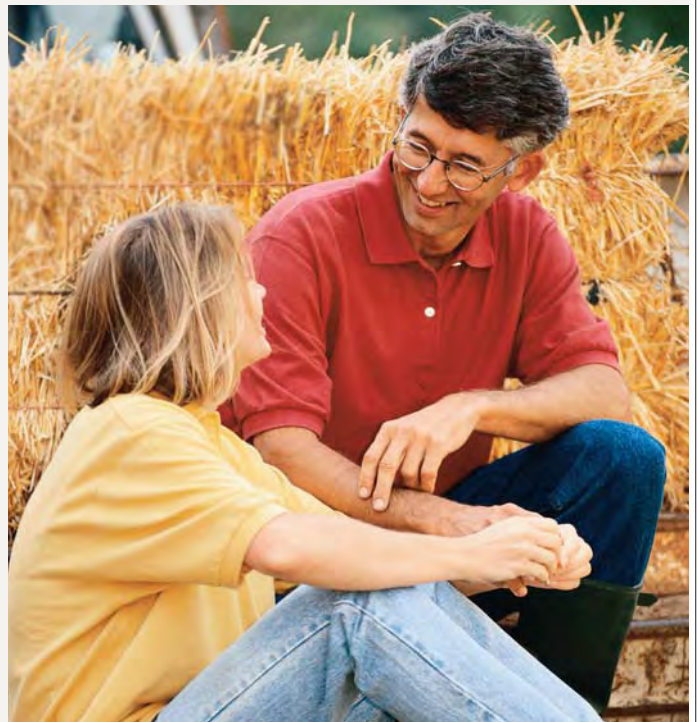
わたしは2階に行くと、娘と並んで腰を下ろしました。娘はベッドで泣いていたのです。二人で家族会議を開き、わたしは娘に赦しを請いました。それはわたしたちにとってすばらしいひとときでした。一緒に語り合うことで解決したのです。

妻のおかげで、正式な家族会議さえもくつろいだ楽しい時間にすることができました。

バラード姉妹——夫と随分前に一つの約束をしました。二人の考えが合わないときは、どんなことでも話し合うということです。

バラード長老——家族会議に参加する人はだれもが、話し合いを始める前に、何が望ましい結果なのかを

夫婦



祖父母を交えた 家族



自分なりに考える必要があると思います。つまり、自分には何ができるかを考えるわけです。そのうえで両親は、物事がうまく運ぶように子供たちと力を合わせて行動していきます。

問い——ひとり親についてはどうでしょうか。何か助言がありますか。

バラード姉妹——独りでお子さんを育てている女性や男性の苦労をお察しします。しなければならぬことが山ほどあるわけですから。どうやってこなしておられるのでしょうかね。

バラード長老——ひとり親の方々は、一日の仕事を終えると疲れて帰宅するものです。それから夕食の支度をし、子供たちの宿題を手伝うわけです。一緒に座って正式な形で家族会議を行うだけの気力も時間もないほど、情緒的に張り詰めています。でも、ストレスに押しつぶされそうであればあるほど、家族には家族会議が重要なのです。

ほかの親にも言えることですが、ひとり親にとって重要なことは、子供に打ち解けた雰囲気^{ひつす}で助言ができる機会を逃さないことです。それは車に乗っているときかもしれませんし、皿洗いをしているときや、朝晩の祈りの前かもしれません。疲れているでしょうが、子供たちと効果的につながりを作る時間を見つけ、注意力を働かせることが賢明です。子供たちが成長して行動を変えるのが難しい年ごろになったときに無理強いするよりも、まだ幼い時期に愛情深くコミュニケーションを図る方がはるかにいいのです。

問い——祖父母を交えた家族会議についてはどうでしょうか。

バラード長老——両親は祖父母から力強い助けを得ることができます。この事実を見過ごしにしないでいただきたいですね。正式の家族会議でも、形式にとらわれない場面でも、祖父母を迎えて話を聞くことができます。家族会議のメンバーのだれよりも、30年以上も長く人生を歩ん



**子供に打ち解けた
雰囲気^{ひつす}で助言が
できる機会を
逃さないことです。
それは車に
乗っているときか
もしれませんし、
皿洗いを
しているときや、
朝晩の祈りの前か
もしれません。**

できているわけですから。遠くに住んでいたとしても、孫たちは電話や電子メールを利用すればいいのです。我が家の子供たちもそうしています。ひとり親にもこのような助け手がいるかもしれませんし、いてもまだ助けてもらっていないかもしれません。祖父母はすばらしい助け手になれるのです。

問い——家族会議を成功させる要素として、ほかにどのようなものがありますか。

バラード長老——家族一人一人の状況を理解することです。子供は一人一人違ってきます。医学上の問題がある場合、世の中のカウンセリングだけでは問題は解決しません。例えば、わたしたちの子供の一人は注意欠陥障害（ADD）と闘っています。その子が小さいときは、ADDがどのようなものなのか分かりませんでした。ほかに知っている人もいませんでした。失読症の孫もいます。子供にとってそうした問題に対処するのはとても大変なことです。両親はこのような問題について相談し、家族会議で最良の対応策を話し合わなければなりません。「きっとできるよ。もっと頑張る」と言うだけでは不十分です。外部からの助けを得る必要があるかもしれません。

きょうだいが必要な助けになることもあります。父親と母親が評議会制度を利用すれば、年上の子供たちが良い導き手、すばらしい助け手になれます。このような方法で、家族がワードのようになります。ワードの場合、扶助協会や長老定員会、若い女性会長を巻き込む方法を知っている監督は、ワードで行われることに大きな影響を及ぼすことができます。同様に、父親と母親は子供たちをお互いの良い導き手と考える必要があります。そうすれば、家族会議が力を発揮します。

問い——夫と妻の関係は家族会議の成功に必須だと思えますが。

バラード姉妹——わたしはともに話し合える夫を持って、とても幸せです。夫婦の足並みがそろっていないと、家族の一致を図るのは難しくなります。父親と母親の意見がいつも違っていたら、子供たちは都合が良い方の親を利用するようになるからです。また、夫婦は子供たちとは別に、二人だけで時間を過ごす必要があります。わたしたちの場合、子供がまだ小さくて夫が監督として奉仕していた

とき、少なくとも週に1度、だれかに子守りを頼んで外出したものです。別にこれといったことはしませんでした、とにかく一緒に時間を過ごしました。生活のことについて目的を持った話し合いをするようにしました。「今の生活をどう思う」と、わたしはよく尋ねたものです。

バラード長老—わたしの方は、自分が何をしたらいいかを尋ねました。すばらしい家族会議でしたね。

バラード姉妹—あのころのことは、今でも覚えていますよ。どのご夫婦も、そういう機会をうまく利用したらいいですね。驚くようなことはそう多くは起こらないでしょうが、時々はあるかもしれません。

バラード長老—わたしが神殿で結び固めを行うときに、若い二人にするアドバイスをご紹介します。一緒にひざまずいて手を取り合って祈りをささげるまで、決して床に就かないでください。そして、その祈りは感謝の祈りでなければなりません。お互いに腹を立てていても、一日の終わりにひざまずいて一緒に祈れば、何かが起こります。わたしには、結婚生活で問題を抱えている人にカウンセリングする機会がたくさんありますが、いつもこう尋ねることにしています。「一日の終わりにひざまずいて、手を取り合い、家庭に天の御父の祝福があるように祈っていますか」と。結婚生活がうまくいっていない夫婦はそれ

を行っていません。そこでわたしは、「30日間実行して、その後でまたおいでください」と言って、帰宅してもらいます。ほとんどの場合、彼らは戻って来て、「バラード長老、言われたことを続けています。これからも続けるつもりです」と言います。天の御父との交流がやむと、^{ほんりよ}伴侶とのコミュニケーションもやみます。天の御父は干渉されません。天の御父は招かれないところには行かれないからです。しかし、わたしたちが求めれば、大きな祝福が注がれます。

問い—対談を終えるに当たり、最後に何かお話しただけませんか。

バラード長老—愛を基とした指導は信じられないほどの力をもたらす²と申し上げておきます。この危険な時代には、家族の中で両親と子供たちが協力し合うことが必要です。あらゆることにおいて警戒を怠らなことが必要とされているからです。

神の子供たちが孤独にいることは決して神の望まれるところではありません。わたしたちには助け手として福音や聖文があり、生ける預言者と使徒がいて、聖霊がおられます。この業は男性の業でも女性の業でもなく、神の業であり、その中心にイエス・キリストの贖罪があるのです。

神の祝福が皆にあって、家族の中で互いに助言し合うときに靈感に基づいた調和と一致を見いだせますように。そうすることによってのみ、家族は内に秘めている能力を存分に引き出せるようになるのです。■

注

- 1. 「評議会に助言を求める」『聖徒の道』1994年7月号、27
- 2. 「評議の力」『聖徒の道』1994年1月号、85-87参照

一対一で





イエスの言葉

十字架上で語られた言葉

イエスの最後の言葉に含まれている教えについて深く思い巡らすとき、わたしたちは百卒長とともに驚嘆の声を上げます。「まことに、この人は神の子である。」(マルコ15:39参照)



地域幹部七十人
アラン・A・ペシオン

あがな
贖い主が最後に語られた一連の大切な言葉を理解するには、十字架上の死が苦難に満ちた数々の深遠な出来事の最後に起きたことを心に留める必要があります。

人で車に乗って長距離を運転するとき、わたしはヘンデルのメサイヤをはじめとする、聖文を題材とした宗教音楽を好んで聴きます。この音楽は、聞く度に、心の奥底にある救い主に対する思いを呼び覚ましてくれます。

昔、友人がフランツ・ジョーゼフ・ハイドン作曲のオラトリオ「十字架上でイエスが語られた7つの言葉」というレコードをプレゼントしてくれました。最近このオラトリオのことを思い出しました。救い主の死についてもっとよく理解しようとして、福音書から救い主の十字架上の死に関する記事を読んでじっくり考えていたときのことです。また、詩篇の第115篇から第118篇を読んだときには、愛する贖い主が地上で過ごされた最後の数か月について理解を深めることができました。この聖句は、最後の晩餐において救い主が歌われたに違いないと十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老(1915—1985年)が語った箇所です。ハイドンとマッコンキー長老はともに、神の御子がこの世において語られた最後の言葉を同じように順を追ってまとめました。その概要に従ってこ

の記事を展開していきます。¹

苦痛の序章

贖い主が最後に語られた一連の大切な言葉を理解するには、十字架上の死が苦難に満ちた数々の深遠な出来事の最後に起きたことを心に留める必要があります。最初は過越の食事でした。次に主が経験されたのは、ゲツセマネにおける精神と肉体と霊の苦痛でした。それから、捕らえられ、不当な裁判にかけられました。ピラトとヘロデが尋問しました。主は、とがらせた骨と鉛をおもりに付けた皮の鞭で打たれました。兵士たちはあざけりの言葉を浴びせながら、戦闘用の紫の衣を主に着せ、いばらの冠をかぶせ、縛った両手に笏として葦の棒を握らせました。次に主は、クレネ人シモンの助けを借りてゴルゴタまで十字架を背負われました。そして、朝の9時に兵士たちはイエスを十字架にかけました(マルコ15:25参照)。

十字架にかけられた二人の強盗に挟まれて、イエスは忌まわしい十字架にしっかりとくくりつけられました。兵士たちは主から脱がせた上着を奪い合いました。この不自然な体勢を強いられた神の御子は、息をする度に襲ってくる苦痛にうめきながら、祭司長、律法学者、

左—「十字架上の死」の一部。ギユスタフ・ドレ画。右—「十字架にかけられるキリスト」ジェームズ・J・テイソット画



長老、兵士、通りがかりの人、わずかな友人と親戚の前で、あざけりを受け、さらしものにされたのです。そのようなときでさえ、主の最後の言葉には神の御子としての特質がにじみ出ていました。

**「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」
(ルカ23：34)**

預言者ジョセフ・スミスは、この言葉の中の「彼ら」が、救い主を十字架にかけた兵士たちを指していることを明らかにしています。これは示唆に富んだ教えです(ジョセフ・スミス訳ルカ23：35参照)。

イエスを鞭打ち、あざけり、十字架に釘で打ちつけた兵士たちは命令に従ってそうしたの

です。ピラトの命令を実行するか、さもなければ罰せられるかの選択しかありませんでした。兵士たちはイエスの教えを聞いたことがなかったと思われます。彼らにとってイエスは、異国の扱いにくい民の一人にすぎませんでした。救い主は、兵士たちの行動が罪とならないよう御父に懇願されました。救い主の死の責任は当然のことながら「その血の責任は、われわれとわれわれの子孫の上にかかってもよい」と言った人々に振りかかりました(マタイ27：25)。

「敵を愛し、憎む者に善を行い、迫害する者のために祈れ」(欽定訳マタイ5：44より和訳)と教えられた御方は、御自分を刺し貫いた者たちの霊的な幸福を心にかけておられました。これは注目に値する教訓ではないでしょうか。自分が何をしているか分からない人々に対し

神の御子は
祭司長、律法
学者、長老、
兵士、通りがかりの人、
わずかな友人と
親戚の前であざけり
を受け、さらしものに
されました。
そのようなときでさえ、
主の最後の言葉には
神の御子として
の特質がにじみ出
ていました。

て、わたしたちは彼らの動機にこだわることなく、関心を示さなければなりません。

「あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」(ルカ23:43)

十字架にかけられた強盗の一人は、自分が、さまよい出た後に勝手な道に向かって行った羊のような存在だと悟りました(イザヤ53:6参照)。心の奥底にあった光が「すべての人を照すまことの光」を前にして再びかき立てられたのです(ヨハネ1:9)。彼はあざけりに加わらず、救われるかもしれないというかすかな望みを託して良い羊飼いに訴えました。「イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください。」(ルカ23:42) 救い主は優しく答えると、希望をお与えになりました。この罪人は霊界で福音が宣べ伝えられることや、霊界において神に従って生活する機会が与えられることを恐らく理解していなかったと思われまます(1ペテロ4:6; 教義と聖約138:18-34参照)。救い主はまことに、御自分の横ではりつけにされていた強盗に関心を寄せられました。ましてや主を愛し、主の戒めを守るよう努力している人々には、より深い関心を示されるに違いないのです。

「婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です」(ヨハネ19:26)

救い主の母マリヤは十字架の傍らに立っていました。神の御子である自分の息子の肩に無限の重荷が置かれるのを目の当たりにしたとき、シメオンの預言を思い出したことでしよう。「ごらんなさい、この幼な子は、イスラエルの多くの人を倒れさせたり立ちあがらせたりするために、……定められています。そして、あなた自身もつらで胸を刺し貫かれますでしょう。」(ルカ2:34-35) マリヤも心を刺し貫かれる痛みの中で、救い主が父なる神の御心を成し遂げておられると感じたことでしょう。なぜなら、マリヤこそ天使に「わたしは主のはしためです。お言葉どおりこの身に成りますように」と答えたその人だったからです(ルカ1:38)。

「ごらんなさい。これはあなたの母です」(ヨハネ19:27)

この地上を去ろうとしておられた瞬間に、救い主の関心と慰めの言葉は母マリヤに向けられました。マリヤの夫ヨセフはすでにこの世を去っています。愛弟子ヨハネがマリヤの世話をすることになりました。神の長子である主がお与えになったこれらの言葉には、家族の責任について不滅の教訓が含まれています。すなわち神の御心を尊ぶ伝統を代々受

け継ぎ、両親を敬い、互いの必要に心を配りなさいという教えです。

以上の言葉は午前9時から12時の間に、十字架上から語られたものでした。そして「万物の神」が苦しみに耐えておられた昼の12時から3時間にわたって、暗黒が全地を覆いました(1ニーファイ19:10-12参照)。「それは十字架の刑に従って生じる恐るべき苦悶に加えて、ゲツセマネの園における苦悶が、人間の力に耐えられぬほどの強さになってまた迫ってきたものようであった。」²

「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」(マルコ15:34)

ゲツセマネでは一人の天使が現れて救い主を力づけました(ルカ22:43参照)。しかし今や、救い主は独りで酒ぶねをお踏みにならなければなりません。何の答えもありませんでした。天使はやって来ませんでした。主はお独りででした。御父はその光景に、隠れ場を覆う大幕を引かれたのでしょうか(教義と聖約121:1参照)。まさに息を引き取ろうとされたときにその唇からこのような言葉が漏れたのは、きっと激しい感情の動きを経験しておられたからでしょう。

ゴルゴタで人々を前にして受けられた激しい苦痛は、一人ゲツセマネで受けられた苦悶に勝るとも劣らないものでした。このためイエスは御父に対してその後もこのように語り続けられることになったのです。「父よ、罪を犯したことがなく、あなたが御心になうとされた者の、苦しみと死を御覧ください。あなたの子が流した血、すなわち、あなた御自身が栄光を受けるために、あなたがお与えになった者の血を御覧ください。」(教義と聖約45:4)

イエスがお独りで苦しみを受けられたことは、父なる神が子らに対して無限の愛を抱き、子らを尊重しておられるために、時々沈黙されることを思い起こさせてくれます。人がつたない努力によってわずかながらでも勝利を得るように、また「わたしたちが最善を尽くした後」に神がその絶大な恵みによって救ってくださることを示すために神はそうされるのです(2ニーファイ25:23参照)。

「わたしは、かわく」(ヨハネ19:28)

この言葉から、イエスが十字架上で受けられた肉体の苦痛のすさまじさをうかがい知ることができます。イエスの肉体は苦しみからの解放を求めていました。乾き切った唇に舌が張りつきはつきりと言葉も出せないほどでした。肉体の苦しみにおいて、わたしたちには「これらすべての下に身を落とした」神がおられます(教義と聖約122:8)。

酢に浸した海綿がイエスの口に近づけられました。イエスはそれを受けると、肉体にあって最後の言葉を発せられました。

「すべてが終わった」(ヨハネ19:30)

完全な贖いが成し遂げられたのでした。世の罪のための苦しみが終わりました。永遠という時の流れの中で、これほど輝かしい瞬間がほかにあったでしょうか。預言者ジョセフが靈感によって加えた記録によれば、御子は「すべてが終わった」と口にされる前に御父に呼びかけられました。それから、御父の御心は成し遂げられた、と宣言なさいました(ジョセフ・スミス訳マタイ27:54[英文]参照)。

ゲツセマネにおける祈りの最初の言葉から十字架上の最後の言葉に至るまで、その言葉にはイエスが御父の御心を行われたことが表されています。イエスは御父から与えられた苦い杯^{さかずき}を飲み、御父に栄光を帰し、全人類に救いをもたらされました(3ニーファイ11:11参照)。わたしたちも、イエスのように従順であり、謙遜^{けんそん}であって、また無私^{むし}の精神をもって、この世に勝利と成功を収めようではありませんか。

「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます」(ルカ23:46)

全能者の御子は御自分の命を進んで差し出されました。イエスは母マリヤから死すべき体を受け継ぎ、肉体の父である神から死すべき体にあるまま永遠に生きる力を受け継いでおられました。救い主は全人類に復活をもたらすために御自分の命をお与えになりました。獄にいた義人の霊は、主の死の知らせを聞いて「喜びと楽しみに満たされ」ました(教義と聖約138:15)。なぜならば、主の死と復活は死の鎖からの解放を約束するものだったからです。わたしたちも同じように、主の犠牲と復活という贈り物を受けています。これによって、毎日の生活を喜びと楽しみに満ちたものにするができます。

モルモン書の預言者ヤコブは「すべての人が……キリストを信じ、キリストの死について考え」るよう望むと言いました(モルモン書ヤコ



ブ1:8)。救い主の贖いの犠牲はすべての人が悔い改めて永遠の命を得る手段を与えています。主の死に至る出来事に驚嘆し、十字架上で語られた主の言葉が持つ教えの深い意味と全容について思い巡らすときに、わたしたちも百卒長とともにこう感嘆の声を上げることができますように。「まことに、この人は神の子である。」(マルコ15:39) ■

注

1. *Doctrinal New Testament Commentary*, 全3巻(1966-1973年), 第1巻, 744, 818参照
2. ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』642

アラン・A・ベシオン長老はヨーロッパ西地域で地域幹部七十人を務めている。

モルモン書の預言者ヤコブは「すべての人が……キリストを信じ、キリストの死について考え」るよう望むと言いました。





わたしの

父親たち

親切で思いやりのある指導者が、
父親とはどのようなものであるかを
教えてくれました。

ローズマリー・デップ

我が家のトラブルは、たいていの場合
父親が原因でした。父は怒りっぽく
厳しい人でした。わたしは父をとて
も恐れていました。父のそばにいと何が起
きるかまったく予測がつかず、不安になるの
でした。

家庭は暗く惨めな場所でした。幼いころか
ら暗闇に包まれているような気がしていま
した。家にいるのはつらいことでした。わたしを
愛し、心にかけて、守ってくれる父親を求めて
いましたが、現実の父親には、そういった特質を
何一つ見いだすことはできませんでした。

父からの逃げ場所が必要だったときはいつ
も、教会に行きました。礼拝堂が好きだったの
は、とても安全な場所だと感じられるからで
した。けれど、天の御父が一体どういう御方なの
かよく理解していなかったため、天の御父のそ
ばにいとと思うと、緊張やためらい、不安を感
じました。教会で、わたしには自分を愛してく
ださる友が天におられることを学びました。そ
こでわたしは、イエス・キリストとその愛につ
いて考えるようにしました。わたしがイエスを

愛していたのは、若い女性の指導者が皆、主
を愛していたからです。イエスのことを話す彼
女たちはとても幸せそうでした。わたしは主の
戒めを守り、主の望まれることを行おうと全力
を尽くしました。

青少年のグループで死者のためのバプテスマ
を受ける計画を立てていたとき、天の御父の
宮は一体どんどころかしらと考えました。大
きな期待とともに、カリフォルニア州ロサン
ゼルス神殿に足を踏み入れました。神殿に満
ちあふれる平安に圧倒されそうでした。現実
のわたしの家とこれほど対照的な場所は考
えられません。平安な気持ちが消え去ってしま
わないかと心配で息をするのさえためらいま
したが、依然として神殿内の平安は保たれ、迎
りは静けさに満ちていました。

神殿に行くのが大好きになりました。御父の
家では、恐れる必要はありませんでした。そこ
は安全で、心が落ち着く場所でした。そして平
安と慰めに満ちていました。ここに住みたいと
思いました。天の御父の家は愛に満ちていま
したので、わたしはとても幸福でした。再び天の御
父の家に来ることができるよう、自分自身を
備えようと決意しました。

教会と神殿での経験を通して、天の御父が
愛に満ちた父親であられることを学びました。
わたしを愛し、物質的にも霊的にもわたしの必
要とするものに心を配ってくださるのです。

わたしを愛し、
心にかけて、
守ってくれる

父親を求めて
いましたが、
家庭ではそういう
父親を得ることは
できませんでした。
けれど教会で、
わたしは「父」に
出会いました。
彼らはわたしの
人生の特別な節目に、
父親の役割を
果たしてくれました。



神の教えに従わない父親と一緒に暮らしてはいましたが、神は善い父親としてわたしを支えてくれる人々をお与えになりました。いつも声をかけ、様子を気遣ってくれるすばらしい監督がいました。面接をしたり、青少年の活動に参加したり、ファイヤサイドを開いて自宅に招いてくれたりと、ヒッケン監督はワードのすべての青少年に接するのと同じようにわたしに接してくれました。ヒッケン監督は愛が深く親切で、忍耐強い人でした。監督が奥さんや子供たちに接する様子を見ると、天の御父も同じような御方であるということが理解できるのでした。ヒッケン監督はいつも明るく、快活で愛に満ちていました。監督が望むようなよい生き方をしようと、努力しました。

デートに関してはおくてだったため、わたしがデートをするようになったときには、ワードの監督も含め、周りのみんなが知っていたようです。いよいよその日がやって来ました。デートの相手が迎えに来ました。わたしたちの乗った車が赤信号で止まっていたとき、車の後部にだれかがそとぶつかりました。だれだろうと振り向くと、一人の男性がわたしたちの乗ったトラックの運転席に近づいて来るのが見えました。監督でした。デートの相手が運転席の窓を開けると監督は言いました。「そこにいるのはわたしの娘だ。10時までに家に帰らせてくれよ。」その夜10時までに帰ったこと以外、デートのことはあまり覚えていません。けれど監督がわたしを自分の娘だと言ってくれたことや、わたしを愛し心にかけてくれたことは決して忘れないでしょう。こうしてわたしは天の御父もわたしを心にかけてくださっているのだということを理解しました。

わたしの人生におけるもう一人の父は

ステーキ会長会の一人でした。メリル副会長はいつもステーキのダンスパーティーや若い女性のキャンプ、ユースカンファレンスに参加してくれました。

大学に入る準備をしていたとき、メリル副会長は親もとを離れるわたしに父親としての助言を送るべきだと考えてくれました。メリル副会長の声は穏やかで心が安らぎ、思いやりが感じられました。メリル副会長がわたしを愛してくれていることが分かりました。彼は、わたしの結婚式のためならたとえソルトレーク神殿にでも行くつもりだと言いました。

数年後、父親に婚約の報告をしました。父は冷たく、無関心でした。何も変わっていませんでした。わたしは涙をこらえました。祈りの中で天の御父に思いを向けると、聖霊を通してメリル副会長との約束を思い出しました。何年も前に言ったことを、はたして覚えてくれているだろうかと思いました。彼は本気だったのでしょか。受話器を取り電話をかけると、メリル副会長が出ました。わたしはどもりながら婚約のことを告げ、以前の約束を覚えているかどうか尋ねました。「結婚式はどこのお神殿ですか」という声が返ってきました。

「ソルトレーク神殿です」と答えました。

「じゃあ出席させてもらいますよ」とメリル副会長は答え、雪道を13時間運転してわざわざ来てくれたのです。夫となる男性とともに結び固めの部屋に入ったとき、真っ先に目に飛び込んできたのはメリル副会長の姿でした。その日、彼はわたしの父親でいてくれたのです。

あれから何年もたちましたが、二人の父親はわたしの人生で重要な位置を占めています。それぞれ教会での責任や環境は変化しましたが、彼ら自身に変わりはありませんでした。常に信仰と証^{あかし}を保ち、わたしへの愛と関心も絶えることはありません。二人の父親から、天の御父は信頼することができる御方だということを教わりました。二人は、天の御父がわたしに抱いておられる愛と関心を感じる手がかりを与えてくれたのです。

ローズマリー・デップ
姉妹はユタ州センタービル北ステーキ、ジェニングズブレンワードの会員です。

25ページは「チャーチニュース」と「フレンド」のページの後に続きます。



世の中の悪に対抗できるよう 若人を備える

以下のメッセージから訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や教えを祈りの気持ちで選び、読んでください。自分の経験や証を分かち合い、あなたが教える人々も同様に行うよう勧めてください。

親や指導者が若人に備えをさせるには、何が役立つか。

大管長 ゴードン・B・ヒンクレー——「わたしは……若人を心に留めています。……彼らがその重荷を父親や母親と分かち合えるよう願っています。若人の声に耳を傾け、忍耐強く理解をもって接し、彼らの心を自分たちに向け、孤独の中にある彼らを慰め、支えてください。導きと忍耐心を求めて祈ってください。ひどく腹が立つようなことがあっても、愛する力を祈り求めてください。理解力と親切な心、そして何より知恵と靈感を求めて祈ってください。」(『あなたの子らの平安は深い』『リアホナ』2001年1月号, 67)

第一副管長 N・エルドン・タナー (1898-1982年)——「両親がまず率先して聖文を読み、そのうえで子供たちを励まして聖文を研究させ、正しい所で正しい答えを求めようように指導しなければなりません。青年は、世の中に出てから直面する様々な試練や敵に備えるために、まず家庭で強められなければならないのです。」(「正しい答え」『聖徒の道』1974年5月号, 197)

中央初等協会第二副会長 ゲール・M・クレッグ——「皆さんの母国語が何であろうと、心からの祈りと喜びにあふれた証の言葉で教え、語るようになりましょう。地上と天上の天使がわたしたちを取り囲み、恵みを施すようになるためです。わたしたちには称賛と友情の言葉を話す、福音の信頼できる教師が必要です。……この重要な旅を通じ、愛という普遍的な言葉を用いながら子供にほほえみかけ、愛情の毛布で包まなくてはなりません。」(「愛の言葉」『リアホナ』2002年7月号, 76参照)

若人が福音の原則を行いに移すために、証はどう助けとなるだろうか。

モロナイ7：33——「あなたがたはわたしを信じるならば、わたしの心になうことを何事でも行う力を持つであろう。」

十二使徒定員会 リチャード・G・スコット——「イエス・キリストへの揺るぎない信仰を持つことは、人生を輝かしい光であふれさせることです。そうなれば、自分だけでは解決できない、どうすることもできない問題に直面しても、一人きりで苦しまなくて済むのです。」(「主から助けをいただく」『聖徒の道』1992年1月号, 95参照)

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ——「少年時代にわたしはバスケットボールの練習が終わると、夜道を自転車に乗って家に帰りました。帰るとき

はいつも、小さな西洋梨の形をした発電機を自転車のタイヤに接触させるのでした。ペダルをこぐと、タイヤが小さな回転子を回し、それが電力を生み、1本の光の柱を発生させるのです。単純ですが、有効な装置でした。しかし、光を発生させるにはペダルをこがなければなりません。……

霊的な光を発生させるには毎日霊的なペダルをこがなければなりません。祈り、聖文を研究すること、断食、奉仕、そして福音に従った生活を〔する〕ことによって霊の光は生まれます。……

バプテスマのときに交わり、聖餐を受けるときに新たにする聖約、すなわちイエス・キリストの御名を受け、いつも御子を覚え、御子の戒めを守ることには、いつも御子の御霊を受けるといふ約束が含まれています。つまり、常に光を受けると約束されているのです。」(「闇を出て、驚くべき主の光の中へ」『リアホナ』2002年7月号, 78) ■

さらに詳しい情報が必要な場合は、『若人の強さのために』(36550 300)を参照してください。



最大の幸福

わ たしたちは時折、生活の中で最も大切にしなければならぬもの、すなわち家族にほとんど関心を向けていないことがあります。ここに紹介する現代の預言者の言葉は、わたしたちが最も素晴らしい喜びに心を向けるうえで助けとなるでしょう。

現 代の預言者は皆、家族の大切さを説いてきました。人生で最大の幸福は家族を通して得られることを理解していたのです。しかし、このような幸福を得るには、家族を強めるよう日々努力しなければなりません。家族を幸福にする方法について、現代の各預言者からの提案をいくつか紹介しましょう。

永遠の視野を持ち続ける

第1代大管長

ジョセフ・スミス(1805-1844年)

「神の愛に満たされた人は、自分の家族だけではなく、目を全世界に向け、全人類が祝福されることを望みます。」¹

第11代大管長

ハロルド・B・リー(1899-1973年)

「あなたが行う最も大切な主の業は、あなた自身の家庭という囲いの中にあります。」²

第13代大管長

エズラ・タフト・ベンソン(1899-1994年)

「家庭以外の場所や、家庭を離れたところに真の幸福などあり得ません。人生で最高の感化を受け、最上のつながりを持つ場所が家庭なのです。」³

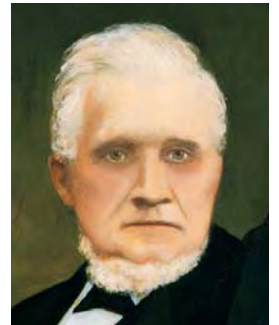




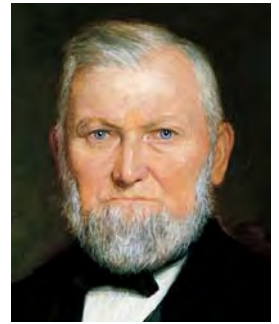
ジョセフ・スミス



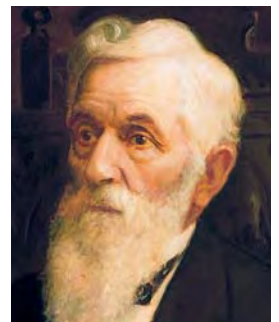
ブリガム・ヤング



ジョン・テラー



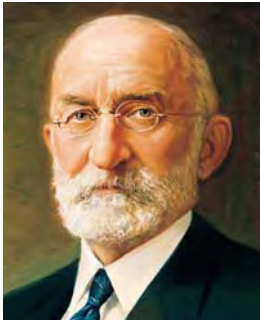
ウィルフォード・ウッドラフ



ロレンズ・スノー



ジョセフ・F・スミス



ヒーバー・J・グラント



ジョージ・アルバート・スミス



デビッド・O・マッケイ



ジョセフ・フィールディング・スミス

両親を敬いなさい

第5代大管長

ロレンツ・スノー(1814-1901年)

「わたしは若い兄弟姉妹の皆さんに心からお願いします。あなたの両親を敬ってください。これは、あなたが両親とともに主から賜った地で、長く生きられるようにするためです。両親に従い、愛をもって接してください。」⁴

第12代大管長

スペンサー・W・キンボール(1895-1985年)

「もし戒めのおりに両親を敬うならば、両親の最高の特質を見習い、両親の願いを成就しようと努力するはずでありません。わたしたちが両親に与えることができるどのようなものも、義にかなった生活に勝るものはないでしょう。」⁵

家族の祈りに加わる

第3代大管長

ジョン・テラー(1808-1887年)

「皆さんが家族の人たちと暮らしていく中で、日々皆さん自身と皆さんが持っているすべてのものを神にささげつつ、神に祈り求めることを忘れないでください。また義を行い、一致と愛の精神をはぐくみ、生ける神の平安と祝福がとどまるよう努めてください。そうすれば神は命の道へと導いてくださるでしょう。」⁶

第7代大管長

ヒーバー・J・グラント(1856-1945年)

「家庭にあって少年少女を神への愛とイエス・キリストの福音への愛の中ではぐくむために、どのような家庭にも取り入れられる最もすばらしい事柄の一つは、家族の祈りをささげることです。わたしはそのことを確信しています。」⁷

第8代大管長

ジョージ・アルバート・スミス(1870-1951年)

「わたしたちは幸福な家庭を築きたいと望んでいる〔でしょうか。〕もしそうなら、家庭を、常に祈りと感謝をささげる場としてください。」⁸

一緒に聖文を読む

第14代大管長

ハワード・W・ハンター(1907-1995年)

「賢い父、母が子供たちを集め、ともに聖文を読み、その物語や思想をそれぞれの理解力に応じて自由に話し合うとき、家族は大きな祝福を受けます。」⁹

愛をもって接する

第2代大管長

ブリガム・ヤング(1801-1877年)

「〔家族〕の間に起こるつまらない口論や争いに内在する非常に大きな問題は、正しい相互理解が欠如していることに原因があります。」¹⁰

「怒りに身を任せたり、怒りから出た言葉を口にしたりすることがあってはなりません。」¹¹

第9代大管長

デビッド・O・マッケイ(1873-1970年)

「わたしたちは、自らの人格によって、また激情や短気を抑え言葉を慎むことによって、理想の家族を築くことに貢献できます。なぜなら、それらの事柄は、家庭を本来あるべき姿にしてくれるからです。」¹²

第15代大管長

ゴードン・B・ヒンクレー(1910年-)

「世界中に立派な家族は存在します。しかし、問題を抱えている家族があまりにも多いのです。しかし、これは治療可能な病気です。必要な薬は、簡単で、実に効き目があります。それは愛です。」¹³



永遠を目指して生きる

第4代大管長

ウィルフォード・ウッドラズ(1807–1898年)

「わたしたちは末日聖徒に、自分の先祖を、今の時代から始めて、たどれるかぎりたどっていただきたいと願っています。自分の父親や母親、先祖と結び固めを受けてください。子供たちをその両親に結び固め、できるかぎりこの家族のきずなをつなげてください。」¹⁴

第6代大管長

ジョセフ・F・スミス(1838–1918年)

「わたしたちは永遠を目指して生きています。単にこの瞬間のために生きているのではありません。神が人の子らに明らかにされた権能という力によって、ともに神聖な聖約に入るなら、死がお互いを引き離すことはないのです。わたしたちの関係は永遠に続くようにできているのです。」¹⁵

第10代大管長

ジョセフ・フィールディング・スミス(1876–1972年)

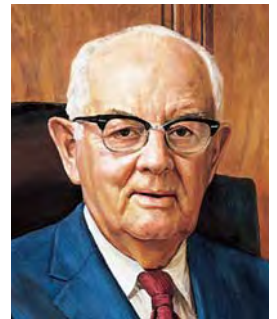
「末日聖徒の家庭のおもな役目は、家族全員が完全に向かって成長することのできる雰囲気と環境を作り出すことにあります。」¹⁶ ■

注

1. *History of the Church*, 第4巻, 227
2. 『歴代大管長の教え——ハロルド・B・リー』140
3. *Conference Report*, 1947年10月, 27
4. *Deseret Semi-Weekly News*, 1901年7月4日付
5. 「鉄の棒をしっかりつかむ」『聖徒の道』1979年2月号, 8
6. 『歴代大管長の教え——ジョン・テラー』149
7. *Conference Report*, 1923年10月, 7
8. *Conference Report*, 1944年4月, 32
9. 「聖典を読む」『聖徒の道』1980年3月号, 88
10. 『歴代大管長の教え——ブリガム・ヤング』193
11. 『歴代大管長の教え——ブリガム・ヤング』192
12. *Conference Report*, 1967年10月, 149
13. 「将来に目を向けて」『聖徒の道』1998年1月号, 79
14. ジェームズ・R・クラーク編, *Messages of the First Presidency of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*, 全6巻(1965–75年), 第3巻, 256–257
15. “General Conference of the Relief Society,” *Relief Society Magazine*, 1917年6月号, 316
16. 「大管長会メッセージ」『聖徒の道』1971年4月号, 86



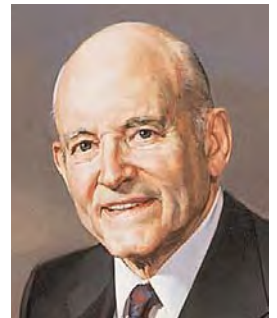
ハロルド・B・リー



スペンサー・W・キンボール



エズラ・タフト・ベンソン



ハワード・W・ハンター



ゴードン・B・ヒンクレー



世代間に 橋を架ける



シャンナ・ガズナビ

どの家族もほかの家族とはどこか
違っているものです。そして理
想の家庭像というものも人によ
って異なります。ステファニー・スパンは
今の家族が大好きでとても大切に思ってい
ます。そして少しでもいい家族、いい人にな
ろうと努力しています。

17歳のステファニーは末っ子です。兄の
ウェインとジョンはもう独立しています。
両親のラリーとエドはすばらしい模範であ
り、頑張るステファニーの強い味方です。
そしてステファニーの愛する家族の中で、
どんなときにも偉大な模範となっているの
が祖父フランク・アローチスです。ステフ
ァニーはこう語っています。「祖父が教え
てくれたことの中で、たぶん最も大切な

は家族についてです。」

ステファニーの母親と祖母は教会員です
が、父親と祖父は会員ではありません。ス
テファニーにとって、家族の一部だけが会
員であることは一つのチャレンジとなっ
ています。「いつかは家族と永遠に暮らせる
日が来ると思えば、チャレンジも苦になら
なくなります。わたしはいつも神殿結婚を
目標としています。」彼女はそう語ります。

ステファニーの父親は家庭の夕べの時間
を取ってくれますし、勉強やスポーツにも
協力してくれます。ステファニーは父親が
いつもそばにいてくれることをとてもうれ
しく思っています。そして家族がいつの日
か神殿で結び固められることを待ち望んで
います。「父はゆっくりとですが、福音を



**ステファニーは
デリケートアーチで、
北ユート族の首長である
祖父から
オリンピックの聖火を
受け取った。**



上:アーチ国立公園の滑らかな岩の続く道で聖火リレーの練習をするステファニー
右:両親と祖父母と一緒にステファニー

受け入れているようです。」彼女はほほえみながら語ります。

スパン家の親戚はあまり近くに住んでいませんが、心はしっかりとつながっています。「みんながお互いのことを気遣っているんです。お互いがどうしているか確かめるためによく電話をかけ合います。」またステファニーはこう語っています。「だれかの行事やスポーツの試合があるときは、いつもみんなで行きます。」もう一つ、家族と近くいる方法として彼女が好きなのは、甥や姪たちと時間を過ごすことです。これとって特別なことをする必要はありません。「公園に行ってあひるにえさを上げたりします。一緒に時間を過ごすだけでとても楽しいんです。」

聖火を手渡す

ステファニーと祖父の仲は特別です。「祖父はほんとうにいい人で、わたしのヒーローです」と彼女は語っています。何かするときはステファニーと祖父はできるかぎり一緒に、家族のほかのメンバーもそれに加わります。氷上で魚釣りをしたり、狩りやキャンプに行ったり、時にはユタ州ホワイトロックにある祖父の牧場で一緒に働くこともあります。ステファニーは家族の大切さに加えて、人を思いやり、自分の先祖であるアメリカ先住民の伝統を大切にすることも祖父から学びました。

伝統を大切にすることの一つとして、ステファニーと母親と祖母はユタ州ベニオンステーキの家族歴史センターで系図を調べています。ステファニーもこれまで多くの先祖の名前を調べて神殿の儀式のために提出してきました。自分が属する北ユート族の先祖を調べることにかけてはほとんど上達しています。

ステファニーの祖父は2002年ソルトレイクオリンピックの聖火リレーにおいて、北ユート族代表に選ばれました。祖父フランクは聖火を手渡す相手を推薦するように実行委員会から求められたとき、真っ先にステファニーの名前が浮かんだそうです。「あの子はほんとうにスポーツが好きなんです。」祖父は実行委員会にこう説明しました。「それにとっても健康です。きっとあの子ならできますよ。」

「男の子にできることなら女の子にだってできると、いつも祖父から教えられてきました。」ステファニーはほほえみながら語ります。

ステファニーは高校でサッカーをしていたので、聖火ランナーとしてはぴったりでした。この大役を無事果たせるよう助けてくれたことでも、ステファニーは祖父に心から感謝しています。「わたしは祖父ほど勤勉な人を知りません。スポーツや宗教や個人的な目標に取り組むうえで、祖父から学んだ勤勉さが助けとなってきました。」

ユタ州南部のアーチ国立公園にある、絵画のように美しいデリケートアーチの下で、ステファニーは祖父から聖火を受け取りました。それは現実のことでしたが、象徴的な光景でもありました。聖火を手渡すことよりも大切だったのは、祖父や家族が受け継いできた愛の伝統だったのです。ステファニーもこの伝統を自分の家族の中で守り続けたいと思っています。

理想の家族

ステファニーは、自分の家族は多くの人が思い描くような理想像には必ずしも当てはまらないだろうと感じています。しかし、互いに愛し合い神に近くあるために、できる限りの努力をしているすばらしい家族であるとも感じています。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老はこう言っています。「地上における生涯を通じて理想の家族を追求することにより、人生の基本的な目的を成し遂げるよう熱心に努めてください。たとえまだこの理想に到達していなくとも、主に従順であり、信仰を行使して、可能なかぎりこの理想に向かって着実に近づいていくよう全力を尽くしてください。どのようなことがあっても途中で投げ出してはなりません。……落胆しないでください。できるかぎり理想に近い生活を送るならば、あなたを取り巻く現在の環境がどのようなものであっても、多くの幸せと満足とを得、目を見張るような成長を遂げることができます。」(「第一のものを第一に」『リアホナ』2001年7月号, 7)

これこそスパン家族が目指していることです。ステファニーは、祖父から聖火を受け取って走るのに備えたのと同じように、家族の愛と一致という伝統を受け継ぐ備えをしています。スパン家族は精いっぱい努力をしている立派な家族です。これからも最善を尽くすならば、引き続き祝福を受けられることを、ステファニーは確信しています。

■
シャンナ・ガズナビは教会機関誌スタッフです。



結婚を支える 堅固な土台

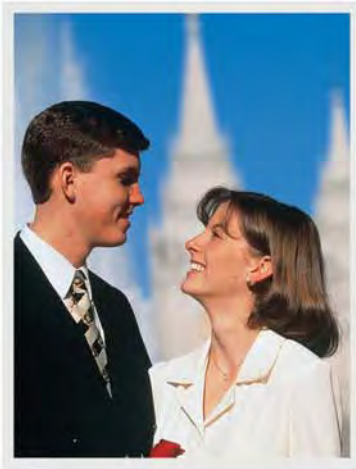
ヒラマン書第5章12節を開く
夫婦と個人は皆、
永続する結婚関係を築くための
確かな助言をそこに見いだすこと
ができます。

ブレント・A・バーロー

イエス・キリストの地上における務めが最後の段階に近づいたときに、終わりの時や主の再臨について尋ねた弟子たちがいました。主は御自身が戻って来られる前に見られる状況について語られました。結婚や家族関係に関連して、特に興味深い次のような言葉が記されています。「そのとき、多くの人がつまずき、また互に裏切り、憎み合うであろう。……また不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えるであろう。」(マタイ24:10, 12)

使徒パウロは、終わりの時になるとある者は「自分を愛する者、……無情な者……となるであろう」と教えました(2テモテ3:2-3)。また、「後の時になると、ある人々は、惑わす霊と悪霊の教とに氣をとられて、信仰から離れ去るであろう。それは、良心に焼き印をおされている偽り者の偽善のしわざである。これらの偽り者どもは、結婚を禁じたり、……する」とも教えました(1テモテ4:1-3)。

主は、わたしたちが今住んでいるのは終わりの時であり、時計で言えば「11時」であると明らかにされました(教義と聖約33:3)。それで、この世界では預言された状況を容



易に見ることができます。特に結婚関係について、そう言えます。1999年7月に公表されたラトガーズ大学の報告には、アメリカ合衆国における結婚の現状が要約されています。ほかの多くの国においても同様の傾向があるのはきわめて明らかなようです。この報告には次のように書かれています。「基本的な社会指標には、結婚という制度が著しく弱体化していることが暗示されている。アメリカ人はあまり結婚しなくなってしまった。たとえ結婚しても、以前ほど幸福なものではなくなってきている。また結婚した夫婦は離婚に直面する可能性が高い。過去40年以上

の間、結婚は男女が初めての共同生活をする経験を積み、親の務めを果たす場としては主流ではなくなってきている。」同報告は次のように結論づけています。「長期にわたって変わらない傾向が暗示していることがある。それは、これまで永続的な結びつきであり、成人の人生行路において中心となる舞台、育児や親の務めを左右する主要な制度であった結婚が着実に弱体化しているということである。」¹

わたしたちは「結婚は……神によって定められている」と教えられています(教義と聖約49:15)。しかし上記のような報告に直面して、末日聖徒の中には、現代の大きな社会的混乱と変動の中にあっても耐え抜ける結婚生活を築くにはどうすればよいか、世の人と同様に考え悩んでいる人がいるかもしれません。

うれしいことに、福音の原則と教えに従うと





**ソルトレーク神殿の土台が
構造上の堅固な基礎となっているように、
結婚の安定性はその土台の深さと強さで決まります。**

き、結婚生活はただ耐え抜くだけにとどまらず、豊かになります。年齢や住んでいる場所にかかわらず、古代と現代双方の啓示を通して、永続する結婚を築く手助けとなる導きを与えられます。たとえ伴侶が教会員でなくとも、あるいはあまり活発でなくても、夫婦はこれらの原則に従うことによって、より堅固な土台を築くための神の導きを求めることができるのです。

確固たる土台

結婚を確固たる揺るぎないものとするために、まず自分自身の土台に目を向けなければなりません。設計士や建築者は、土台がどれだけ深く強いかにによって建物の安定度が決まるということを知っています。

ソルトレーク神殿を建てた人々は、神殿の建築中に、そのことが真実であると実感しました。神殿の建築は1853年2月14日に開始しましたが、末日聖徒の間で続いた困難のため数年にわたって中断しました。工事が再開したときに、労働者たちは新しい土台を築く必要があることに気づきました。ブリガム・ヤング大管長（1801-1877年）は、この神殿が福千年の間中もちこたえることを期待していると述べ、「だからこそ、わたしは土台をやり直させている」²と語りました。深さ16フィート（4.9メートル）、幅16フィート（4.9メートル）の新しい土台は、後で築かれる花崗岩製の壁と屋根の重みを支える十分な強さを備えていました。

堅固な土台は永続する結婚関係にとっても必要不可欠なものです。夫も妻も、堅固な土台の上に結婚を築くよう最初から計画する必要があります。時として、ソルトレーク神殿を建てた労働者のように、出発点に戻って、より堅固な土台の上に結婚を再構築し、自分たちの関係を福音の原則に添ったものにする新たな決意が必要があるかもしれません。山上の垂訓の終わりで、救い主は土台のたとえを用いられました。「それで、わたしのこれらの言

葉を聞いて行うものを、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができよう。雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけても、倒れることはない。岩を土台としているからである。」（マタイ7：24-25）

モルモン書の預言者ヒラマンは、わたしたちの生活と伴侶や家族との関係を築く確かな土台について、次のように語りました。「覚えておきなさい。あなたたちは、神の御子でありキリストである贖い主の岩の上に基を築かなければならないことを覚えておきなさい。そうすれば、悪魔が大風を、まことに旋風の中に悪魔の矢を送るときにも、まことに悪魔の雹と大風があなたたちを打つときにも、それが不幸と無窮の苦悩の淵にあなたたちを引きずり落とすことはない。なぜならば、あなたたちは堅固な基であるその岩の上に建てられており、人がその上に基を築くならば、倒れることなどあり得ないからである。」（ヒラマン5：12）

基本原則

キリストの岩の上に建てられた結婚とはどのようなものでしょうか。福音は数多くの堅固な原則を提供しています。目の前の幸福だけでなく、永続する喜びを支えてくれる確かな土台の上に結婚を築きたいのならば、以下のような幾つかの原則について考慮すべきです。

1. **イエス・キリストが教えられた戒めを守る。**多くの結婚が破綻してしまうのは、夫婦のどちらか一方または両方が不幸だと感じるからです。幸福な結婚を手にするにはどうすればよいのでしょうか。わたしたちは『家族——世界への宣言』の中で、「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません」³と教えられています。

ベニヤミン王は次のように勧告しました。「さらにあなたがたは、神の戒めを守る者の祝福された幸福な状態についても考えてほしい。」（モーサヤ2：41）司令官モロナイは「我々のあらゆる幸福の源である神の神聖な御言葉」について語りました（アルマ44：5）。またモルモンは、ある時期のニーファイ人について次のように語っています。彼らは復活したキリストの教えられた事柄に従って生活していました。「神の手によって造られたすべての人の中で、彼ら以上に幸せな民は確かにあり得なかった。」（4ニーファイ1：16）神の戒めに従順にならずに、永続する幸福を得ることはできません。

祈りは永続する幸福と喜びを支える建築ブロックの一つです。数多くの聖句の中で、キリストの弟子は頻繁に祈るよう勧められています。そうした聖句の一節は、現代に住

左—写真/チャールズ・R・サベージ。右挿入写真/ステイブ・バンダーソン、写真はイメーシです。

む夫婦に特に当てはまるものです。「あなたは誘惑に陥る」……ことのないように、常に祈りなさい。」(教義と聖約31:12)ともにひざまずき声に出して祈る夫婦の生活には、聖霊が戻り、とどまってくださるようになります。そして誘惑に遭いストレスが生じるときにも、より適切に対処できるのです。聖霊は慰めを与え、試練に対処するのに役立つ靈感に満ちた解決策を心にもたらしてください。

もう一つの大切な建築ブロックは、教会の集会に定期的に参加し、できることならば神殿にも定期的に参加することです。主は次のように勧告しておられます。「また、あなたは、世の汚れに染まらずに自らをさらに十分に清く保つために、わたしの聖日に祈りの家に行って、聖式をささげなければならない。」(教義と聖約59:9) 夫も妻も、教会の集会に二人で出席する価値を時々見過ごしてしまうことがあります。典型的なアメリカ人の姿を調査する中で、次の事実が分かりました。「宗派はどうかあれ、毎週教会に出席する人は3分の1よりもやや多く、すなわち36パーセントを占め、教会にまったく出席しない人に比べ離婚率が少ない。」⁴ 宗教的な礼拝行事に夫婦でともに出席することには多くのメリットがありますが、その一つとして「いつも御子の御霊を受けられるように」聖餐を取ることが挙げられます(教義と聖約20:77)。

2. 結婚を優先する。 職業上の多くの楽しみや仕事以外の興味、そのほかの関心事、また時として教会の活動や召しですら、もし福音の原則に従って注意深く優先順位を決めなければ、伴侶や結婚を二次的なものと位置づける原因となります。1831年、主は生活において結婚を優先するようという啓示を与えて、次のように宣言されました。「あなたは心を尽くして妻を愛し、妻と結び合わ

なければならない。その他のものと結び合ってはならない。」(教義と聖約42:22)

特にこの聖句に関して、スペンサー・W・キンボール大管長(1895-1985年)は次のように語っています。「『その他のものと結び合ってはならない』という言葉は、他のあらゆる人、他のあらゆるものを排除することを意味する。配偶者はその生活で最も優先するものであって、社交、職業、政治、その他の利害、人、物が自分の配偶者に優先するようなことがあってはならない。夫をほったらかしにして子供のことにのみ心を奪われ、つきっきりでいて、時には夫と子供た



**キリストの岩の上に結婚を築くとは、
救い主の教えを基として生活し、
夫または妻として、絶えず祈りによって
天の御父に近づくことを意味します。**

従うべき原則



「わたしは若い方々の結婚式を執行するときに、将来への心構えや、お互いの愛をはぐくむにはどうするか、などについて

て話をしてきました。……

第1に、結婚の際に交わす聖約を守るように勧めます。

第2に、新郎に対しては、妻を幸せにするように話します。夫ができる限りのことをして妻を幸福にしようと努めれば、妻はおのずとそれにこたえて、夫が安らぎと幸福を得られるよう力を尽くしたいと望むはずです。

第3に、どんな誤解でも生じたら解決することが大事であると強調します。「だれが正しいかではなく、『何が正しいかが大切である』と話します。……

第4に、非常に重要なことですが、お互いを愛し続けるように話します。」

第一副管長

N・エルドン・タナー（1898—1982年）

「日の栄えの結婚と永遠の家族」

「聖徒の道」1980年9月号，22参照。

ちの間を引き裂いてさえいる女性を見かけることがある。これは、『その他のものと結び合ってはならない』という戒めにまったく違背するものである。』⁵

3. 人をいつも赦し、争いを早く解決する。結婚は天で決められていると信じる人々がいます。しかし、結婚相手を決めるのは人間だということを忘れてはなりません。人は結婚してしばらくたつと、伴侶にも自分と同じように弱点や欠点があることに気づきます。こうしたことやその他いろいろな理由があって、わたしたちは制限なしに赦すように勧告されています。「それゆえ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは互いに赦し合うべきである。自分の兄弟〔または伴侶〕の過ちを赦さない者は、主の前に罪があるとされ、彼の中にもっと大きな罪が残るからである。主なるわたしは、わたしが赦そうと思う者を赦す。しかし、あなたがたには、すべての人を赦すことが求められる。」（教義と聖約64：9-10）

夫あるいは妻が伴侶の必要にすべてこたえることなどほとんど不可能に近いのです。したがって、長所に目を向け、短所は赦すか気にしすぎないようにするのが賢明でしょう。預言者ジョセフ・スミスは次のように

に教えました。「愛は愛を生む。これは昔からの金言です。……わたしは皆さんの弱点をくどくどと述べることはしません。皆さんもわたしの弱点を挙げないでください。』⁶

イエス・キリストの岩の上に結婚関係を築くもう一つの知恵がエペソ書第4章26節に記されています。「**憤ったままで、日が暮れるようであってはならない。**」恐らくこの特別な聖句は、新婚夫婦に対してよく与えられる「**憤ったままで、床に就いてはならない**」という助言の源となっています。妻のシーズンとわたしは結婚当初、悪気のない親戚からこの助言をもらいました。今では冗談になってしまいましたが、結婚して最初の年、わたしたちはほとんど3日間というもの、眠らずに過ごしたことがあります。結婚して

いる夫婦の多くは、わたしたちが結婚当初に理解したことに気づいているかもしれませんが、夜遅く疲れているときに争いを解決しようとするのは必ずしも得策ではありません。しかし、エペソ人へパウロが送った勧告の精神をもってすれば、争いは早く解決し、いつまでも繰り返したり、悪化したりすることがないということは間違いありません。救い主も弟子たちに争いを早く解決し、清い心で神に近づくようにという勧告を与えておられます（マタイ5：23-24参照）。

4. 健全なレクリエーションを行い、ストレスを減らす。家族に関する宣言の中に、実りある結婚と家庭は、とりわけ「健全な娯楽活動」の上に築かれると述べられています。1847年、西部へ向かって1,300マイル（2,000キロ）の旅を続けていた初期の聖徒たちは、主から「歌と、音楽と、踊りと、……をもって主をほめたたえ〔て〕」進むようにという勧告を受けました（教義と聖約136：28）。ヤング大管長の娘の一人が父親の教えを振り返り、次のように語っています。「人生を最大限に楽しむためには、与えられた時間を労働、睡眠、そしてレクリエーションと均等に振り分ける必要があります。男も女も、子供も、だれもが働くべきです。だれもが睡眠を取らなければなり

ません。そして精神と肉体のバランスを保つためには、だれもが自分の時間の3分の1を、気分を再生してくれるレクリエーション、怠惰ではない自発的な活動に費やすべきです。『8時間の労働、8時間の睡眠、8時間のレクリエーション』というのが父ブリガム・ヤングのモットーでした。」

今日の結婚の多くが、少なくとも部分的にはストレスや疲労、過度の責任が理由で破綻しています。夫も妻も元気を取り戻す機会がほとんどないまま、ない時間を使って無理なことをしようとしているのかもしれませんが、伴侶を含む家族には残りかすほどの時間や注意しか向けられなくなる場合が多いのです。恐らくこういうこともあって、自分の力以上に速く走らないように勧告されているの

でしょう(モーサヤ4:27参照)。結婚して間もないころの預言者ジョセフ・スミスにも、同様の勧告がその召しに関連して与えられました(教義と聖約10:4参照)。ブリガム・ヤングの8-8-8方式、すなわち(一人でも二人でも)8時間の労働、8時間の睡眠、8時間のレクリエーションという考え方は、恐らく現代の多くの夫婦にも役立つでしょう。

わたしたちの家は倒れない

生活がキリストの岩の上に築かれているならば、困難な時期を乗り越える助けを主から受けることができます。雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いたとしても、従順であり忠実であるならば、家は倒れないのです。わたしたちは「不幸と無窮の苦痛の淵に……引きずり落と〔される〕ことはない。なぜならば、〔わたしたちは〕……その岩の上に建てられて〔いる〕……からである」と約束されています(ヒラマン5:12)。また主の導きを尋ね求めるならば、主は手を引いて導き、祈りにこたえてくださるとも約束されています(教義と聖約112:10参照)。末日の啓示から次のような興味深い知恵を学ぶことができます。「あなたがたがわたしの言うことを行うとき、主なるわたしはそれに対して義務を負う。しかし、あなたがたがわたしの言うことを行わないとき、あなたがたは何の約束も受けない。」(教義と聖約82:10) いにしへのニーファイと同様、主の戒めを守ろうと努力するときに、主は御自身が命じられたことを成し遂げられるように道を備えてくださると、確信できます(1ニーファイ3:7参照)。

イエス・キリストの教えという土台の上に築くならば、夫婦は、乱れた時代に訪れる試練や苦難に耐えられる強さを備えた結婚生活を送ることができます。贖い主の岩を土台とすることにより、現在ほんとうに多くの人々が経験しているような「暗礁に乗り上げる」結婚を避けることができるのです。「覚えておきなさい。あなたたちは、神の御子でありキリストである贖い主の岩の上に基を築かなければならないことを覚えておきなさい。……人がその上に基を築くならば、倒れることなどあり得ないからである。」(ヒラマン5:12) ■

注

1. デビッド・ポピノー、バーバラ・デフォー・ホワイトヘッド、*The State of Our Unions: The Social Health of Marriage in America* (1999年)、インターネット、

<http://marriage.rutgers.edu/soou.htm>.

2. B・H・ロバーツ、*A Comprehensive History of the Church*、第5巻、136で引用
3. 『聖徒の道』1998年10月号、24
4. デビッド・B・ラーセンほか、*The Costly Consequences of Divorce* (1996年)、246
5. *The Teachings of Spencer W. Kimball*、エドワード・L・キンボール編(1982年)、311
6. *Teachings of the Prophet Joseph Smith*、ジョセフ・フィールディング・スミス選(1976年)、316
7. スーザ・ヤング・ゲイツ、リア・D・ウイツォー、*The Life Story of Brigham Young* (1931年)、251

ブレント・A・バーロー兄弟は、ユタ州オレム・キャニオンビューステーク、キャニオンビューステーク第8ワードの会員です。



家族に関する宣言の中に、
実りある結婚と家庭は、とりわけ
「健全な娯楽活動」の上に築かれる
と述べられています。



雨のために、
プログラムは
計画どおりに
進みませんでした。
しかしほかの人々にとって、
その雨は大きな祝福でした。

待ち望まれていた雨

フアン・カルロス・ロドリゲス

その日はいつもと同じ日曜日ではありませんでした。年に1度行われる子供たちの聖餐会での発表だったのです。わたしは監督会の一員として、万事うまくい

くよう最善を尽くしました。指導者、教師、初等協会の子供たちは何か月も準備してきたのです。子供たちは歌や賛美歌、そしてせりふを覚えていましたし、発表

するのを心待ちにしていました。

リハーサルの土曜日、午後からひとしきり雨が降りました。教会から遠く離れて住んでいる子供たちの送り迎えを手分けしたにもかかわらず、出席できない子供たちもいました。明日までには雨がやんで、もっと多くの子供が発表に参加できるようにと願いながら、わたしたちはリハーサルを始めました。

激しい雨は日曜日の朝も降り続けました。それどころか、前日より風が強まっていたのです。わたしはがっかりしました。この悪天候では、わたしたちの小さなワードの出席者が減ってしまいます。そして「主はどうして雨がやむようにしてくださらないのだろうか」という疑問がわきました。

わたしたちは車で、乗せられるだけの子供たちを連れて来ました。しかし集まったのは子供たち全体の6割程度です。わたしには納得がいきませんでした。初等協会会長も不安に思っていました。わたしたちは計画どおりに事が運ぶことを期待していたのです。こんなハプニングを計画した覚えはありませんでした。

欠席した子供のせりふは教師が代読することにして、プログラムが始まりました。すると集会が主の御霊で満たされていったのです。そこにいたワードの会員40人は、とりわけ小さな子供たちの証に感銘を受けました。

発表後、謙遜で優しい兄弟が閉会の祈りをささげました。その兄弟は、祈りの中でこのように述べました。「主よ、雨に感謝いたします。多くの地域では雨をととても必要としていたからです。」

「多くの地域ではとても必要としていた。」わたしはこの言葉を心の中で何度も反芻しました。そして気づいたのです。主は御自分の業をその細部に至るまで御存じなのです。わたしたちの発表は計画どおりというわけにはいきませんでした。けれども、出席者の霊を鼓舞するという意味では成功しました。そしてまさに試練だと思っていた雨も、それを必要としていた多くの地域にとっては祝福だったのです。■

ファン・カルロス・ロドリゲスはアルゼンチン・ロザリオ西ステーク、アスクエナガワードの会員です。

主の日を尊ぶ

デビッド・オスカー・サルミエント

安息日を聖く保っているかどうか自問すると、このように答えることがあります。「はい。教会の集会に出席していますし、家族と時間を過ごしています。また、聖文も読んでいますし、日記も書いています。仕事はしていません。」しかし、わたしはある特別な経験から、そのことについて深く考えるようになりました。そしてこう問いかけるようになったのです。「それだけで十分なのだろうか。」

わたしは毎週仕事で、アルゼンチンのオクターボからコルドバまで商品の買い

つけに行きます。出張中、ある仕入先から商品を購入する度に懸賞に応募できることを知りました。1等はコルドバで最も人気のあるバスケットボールチームの観戦チケットでした。

チケットが1枚当たったとき、わたしは大喜びしました。けれどもそれもつかの間で、問題があることに気づきました。その試合は日曜日に行われるため、行くことができなかったのです。しかしすぐにチケットの有効な利用法を考え出しました。わたしは地元のラジオ局で広告を流していたので、このチケットを景品とする宣伝企画を思いついたのです。

翌週、わたしは同じ仕入先から商品を買って、不思議なことにまた同じ試合のチケットが当たりました。景品となるチケットが2枚になったのです。これで宣伝

バスケットボールの試合は日曜日だったので、行かないことは承知の上でした。しかし、この無料チケットが役に立つ方法はないかと考えました。



効果はさらに上がると確信しました。

2枚目のチケットが当たってから数時間後、わたしは不思議な気持ちになりました。細く小さな声が、その宣伝企画を進めるべきではないとわたしに語りかけたのです。妻にどうしてその企画を取りやめるのかと聞かれました。わたしは、もし自分が安息日を理由にスポーツ観戦に行かないのなら、宣伝を通して人々が安息日を破るように仕向けるのは正しくないように思うと答えました。

この経験によって、安息日を尊ぶとはどういうことかを理解することができました。それは単に安息日の行動リストに従うだけではないのです。預言者はわたしの置かれていた状況について特に語ったことはありません。しかし、御霊の促しを感じたとき、周りの人々が安息日のすばらしさを感じられるよう助けることで、自分自身も安息日の精神を保つ必要があることが分かったのです。

妻がこの決断を理解してくれたことに感謝しています。また、天の御父に感謝しています。御父の御霊を通して、主の聖日をさらに尊ぶ方法を理解することができました。■

デビッド・オスカー・サルミエントはアルゼンチン・ゴールドバ南ステーク、オクターボ支部の会員です。

あの男がハンドバッグを盗みました

レベッカ・トーマス

わたしは未婚女性として、いつも身の安全に注意しています。しかしジョージア州アトランタ神殿に行くまでの数週間、わたしは心

配のあまり、繰り返し悪夢を見るようになっていました。夢の中でひたたくりに遭い、クレジットカードと小切手、そして運転免許証が盗まれるのです。あまりにも不安で、神殿に行く前日には、神殿推薦状も何もかもちゃんと財布に入れておくか3度も確かめました。

その晩、わたしはハンドバッグに財布といつも持ち歩いていた手鏡、そして口紅を入れて、パーティーに出かけました。車を止めて鍵をハンドバッグに入れ、パーティーがすでに始まっている教会へと向かいました。大都市で連れもなく一人きりでしたが、怖くはありませんでした。出かける前に、主に守ってくださるよう祈り求めていたので、安心していただけました。

道を歩いていると、だれかが後をつけて来るのに気づきました。振り向くと男性がわたしを目掛けて突進して来たのです。男は激しくハンドバッグを引っ張ってわたしの腕をつかみ、「バッグをよこせ!」と言いました。逃れようともがいてると、ハンドバッグが広い芝生を越えて飛んで行き、近くの茂みに落ちました。わたしは大声を上げましたが、男はハンドバッグを奪って走り去りました。

警察を呼んでから、教会の空いている部屋を見つけました。わたしはひっそりと天の御父に祈りをささげ、涙をこらえながら思いました。「わたしには分かりません。明日神殿に行くのです。それなのにあの男が推薦状を持って行ってしまいました。お父様、どうしてお守りいただけなかったのですか。」無力感と絶望感にさいまれながら、警察官と話すために部屋を出ました。

「トーマスさん、残念ですが、何も見つけられませんでした。泥棒もハンドバッグも見つかりません。」そう言われました。しかし警察官と一緒に車に向かう

途中で、ある考えが思いついたのです

「ハンドバッグから落ちたものがないか、芝生を探してきます。」期待しすぎないように心がけましたが、街灯の光を反射している金属製のものを見つけたときには、大喜びでそれを拾い上げ叫びました。「鍵よ! 鍵!」もう一度車に戻りながら、心の中で感謝の祈りをささげました。

「待って、茂みの方も見てくるわ。」

同伴してくれた警察官は首を横に振りながら、半ば笑うように言いました。「いいですよ。まあ、そんなに幸運なことはないと思いますけど。」

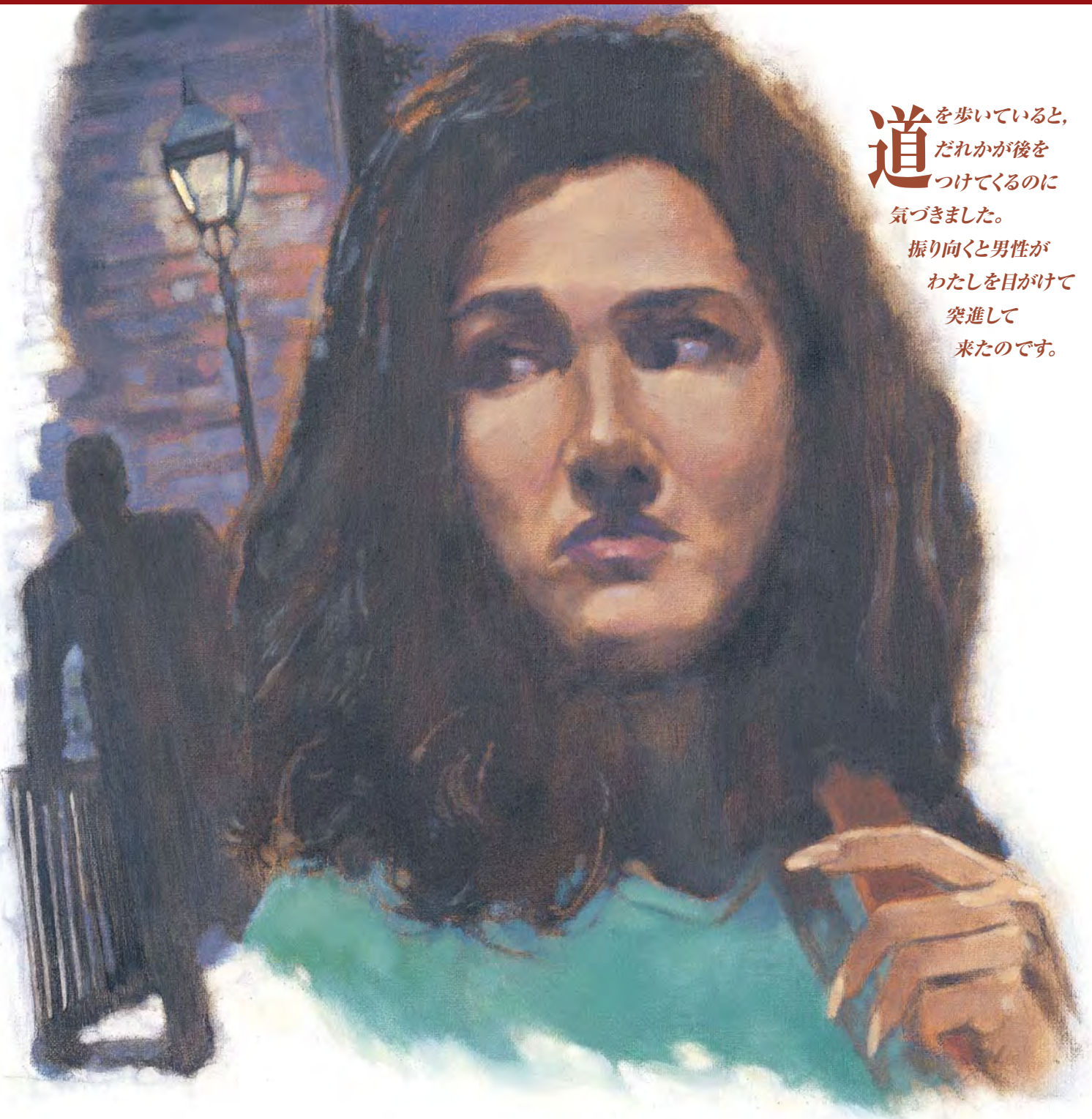
警察官の予想は外れました。わたしは涙を抑え切れずに茂みから叫びました。「財布があったわ!」財布の中には推薦状も何もかもちゃんと入っていました。警察官はとても驚いていました。

一人の警察官がこう言いました。「こんなに運がいい人には会ったことがありませんよ。」

わたしはとっさにこう答えました。「運じゃないわ。神様が守ってくださったのよ。」警察官が今回の神殿旅行の大切さを理解するとは思えなかったもので、その場を白けさせないように冗談のつもりでこう付け加えました。「一つだけ大事なものを盗まれたわ。口紅よ。」だれも笑ってくれませんでした。

わたしは決まりが悪くなって、茂みの方を振り返りました。すると最後にまた驚きの発見をしたのです。目に飛び込んできたものを見て、信じられませんでした。ハンドバッグに入れていたあの手鏡の上に口紅が載っていたのです。

警察が来る前は、なぜ神はわたしを守り、祝福してくださらなかったのだろうかと思いました。しかし芝生の上で、驚きを隠せない警察官の隣に立ちながら、わたしは主が守り、祝福してくださった



道を歩いていると、
だれかが後を
つけてくるのに

気づきました。

振り向くと男性が
わたしを目がけて
突進して
来たのです。

ことに気づいたのです。今では「天のお父様はわたしの苦しみを御存じなのだろうか」と御父に対して少しでも疑いの気持ちを抱くときに、主がわたしの鍵、財

布、神殿推薦状、そして口紅さえも守ってくださった夜のことを思い出しています。■

レベッカ・トーマスはフロリダ州オーランドステーク、クラーモントワードの会員です。

質疑応答

弟は、教会にあまり集わなくなり、家族からも孤立しています。

弟に手を差し伸べ、愛を伝え、祝福を分かち合いたいと願っていますが、どうしたらよいでしょうか

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。

回答

この質問の奥には、選択の自由というとても大切な問題が隠れています。愛する人が福音からそれたり、家族を避けるようになったりすると、心配のあまり、教会や家族の輪の中に戻ってほしいという期待を押しつけたくなるかもしれません。首に縄をかけてでも引っ張って行きたいと思うかもしれませ

ん。けれどもそれは不可能であるばかりか、主の計画にも反しているのです。

いったん道からそれた人を元に戻すために、強制という手段を使うのは正しくありません。強制とは、まさにルシフェルが前世で提案した方法なのです。ルシフェルは、「全人類を贖^{あがな}って、一人も失われな

いように」するために(モーセ4:1)、強制という手段を使うと提案しました。逆に、自由に選択できるというのは、悪を選んで悲しみや苦しみを味わうかもしれないという点で、難しい原則に思えるかもしれません。しかし、強制されて従順になったとしても、決して神のような性質を身に付けることはできないのです。自分の意志で従順にならなければ、永遠の命に導かれることはないのです。

しかし、選択の自由という原則を知っているからといって、迷い出た兄、姉、弟、妹を連れ戻すために何もできないというわけではありません。「いなくなった羊」のたとえや、「なくした銀貨」のたとえ、「放蕩息子」のたとえは、迷い出た人々を連れ戻すためにできることはたくさんあると教えているのではないのでしょうか(ルカ15章参照)。どんな場合でも、まず第一に、そしていつでも、離れて行った人々を愛さなければなりません。たとえ避けられたとしても、大きな愛を持たなければなりません。結果を期待しないでさえ、手を差し伸べるのです。見返りを求めずに愛をもって接するなら、家族の間にある溝に橋が架かることでしょう。放蕩息子のように、しばらくの間福音と家族に背を向けていても、時間がたつにつれて元に戻りたいと願うようになる人々もいますが、ただ戻り方が分からないという場合もあるのです。ですから、日ごろから忍耐強くあり、批判的な気持ちを抱かず接していれば、あなたのその愛によって、互いを隔てている溝に



橋が架かるのです。

証^{あかし}をすることを恐れな^いでください。しかし、自分が相手よりいい人であるかのような態度や、非難するような調子で証をしないでください。聖霊のささやきに敏感になりましょう。そして、ふさわしいと感じたときに、福音や教会や家族について感じていることを話すのです。行動や態度を通じて、福音に従っているおかげで幸せであるということを示してください。

福音に関する話は何も聞いてもらえない場合もあるでしょう。そのようなときにただ一つできるのは、愛することだけです。教会に行っていないからといって家族から孤立する必要などないということをはっきりと伝えてください。家族で何かするときには、一緒にしようと誘ってください。そうすれば、受け入れられている、大切にされていると感じることでしょう。兄、姉、弟、妹が、神の子供であることを忘れないでください。そして、天の御父はすべての子供たちを御自分のもとに連れ戻すために、できる限りのことをしておられるということ覚えておいてください。

読者からの提案

第1にお勧めしたいことは、導きを求めて祈ることです。それから、弟さんとこれまでよりももっと親しくなって、信頼を得るようにするとよいと思います。もっと親しくなれば、教会に行かない理由を話してくれるかもしれません。そうすれば助けができるでしょう。



ホンジュラス・
フェシトラステーク、
チョロマワード、
ダビド・C・バリエホ、
16歳

弟と家族の距離感について、あなたの気持ちを伝えてみてはどうでしょう。また、気軽な話題について話してみるのもいいかもしれません。コミュニケーションのドアを開いておくのです。愛され、大切に

されていると感じるようになれば、弟はまた家族に心に向け、教会にも帰って来るのではないかと思います。



ユタ州セーラムステーク、
セーラム第4ワード、
クリスティーン・ワットコット、
15歳

弟が楽しめるようなことを家族で計画してみてください。あらゆる機会をとらえて弟をどんなに愛しているか示してください。導きを求めて祈り、天の御父に弟の心を和らげてくださるよう願ってください。



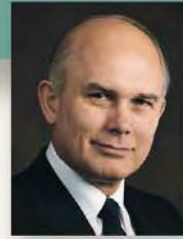
カリフォルニア州
ハンチントンビーチ北ステーク、
ハンチントンビーチ第9ワード、
ビル・ヤンキン、
17歳

だれに対しても教会に行くよう強制することはできません。でも、弟さんのために断食して祈ることはできるのではないのでしょうか。また、福音について話してあげることもできると思います。そして、弟さんに、弟さん自身がとても特別な人間であること、つまり、神の子供だということ思い出してもらおうのです。証をするのも助けになると思います。こうしたことはあなたにできますが、どうするかを決めるのは弟さん自身です。



ドイツ・ドルトムントステーク、
ドルトムントワード、
マデリン・バール、
13歳

わたしの兄は家族から孤立していました。兄の友情を勝ち得ようとする前に、この困難な戦いの間支えてくださるよう祈りました。それから兄のために贈り物をして、手紙を書いて、兄をどんなに愛しているか、イエス・キリストがどんなにか深く兄を愛しておられるか伝えました。



神の御手に 使われる者

「福音を必要としているにもかかわらず、心がそれに向かないでいる人が家族や友達の中に必ずいます。わたしたちが効果的に働くためには、主の導きがどうしても必要です。彼らが最も受け入れやすい方法とタイミングで働きかけることができるようにするためです。今準備のできている人、主が今日わたしたちを通して助けの手を差し伸べようとしておられる人に対して、わたしたちが神の御手に使われる者となるには、主の助けと指示を祈り求めなければなりません。それから、どのような方法で進めたらよいか告げる神の御霊の促しによく注意して耳を傾け、従わなければなりません。」

十二使徒定員会ダリン・H・オークス長老
「福音を分かち合う」
『リアホナ』2002年1月号、8



パナマ・サンイシドロステーク、
ラス・コリナス支部、
オスカー・L・マッケイ・ロベス、
16歳

たぶん弟さんはどのような人になりたいか分からずにいるのでしょうか。その一方で、教会に行っていない今の生活にも満足してしまっているのではないのでしょうか。あなたにできる最良のことは、熱心に祈ることと聖文の中から答えを見つけることです。それからどんなに心にかけているか、弟さんに示してください。一緒に時間を過ごすよう努めてください。弟さんのためによいことをしてください。たとえ親切を拒絶されても、決してあきらめないでください。主はあなたの努力を祝福してくださるでしょう。



オクラホマ州
ロートンステーク、
ウィチタフォールズワード、
ステファニー・オブライエン、
18歳

弟さんがぜひ参加したいと思うようなことを計画して、一緒にしようと誘ってください。同じ年ごろの教会員に弟さんを紹介してみてもどうでしょうか。家族や教会に少しずつ心を開き始めたら、教会員であることがどれだけ楽しいか、教会からどれだけ祝福を受けているか話してあげてください。

フィリピン・バシグステーク、
バテロス第2ワード、
バメラ・ケイ・M・ギカ、
18歳

わたしも以前は家族から孤立していました。そんなわたしに対して、姉も妹も、奉仕と愛と慈愛の模範を示してくれました。ほかにもいろいろな方法で、わたしが何を失っているか気づかせてくれたのです。どうぞ、弟さんに、愛していると伝えてください。弟さん

と一緒にいないと寂しいと伝えてください。こうした言葉は、家族のだれに言われても、力強いものです。



南アフリカ・
ケープタウン伝道部、
フランコ・B・シアマッチリ長老、
20歳

わたしは6年以上にもわたって家族との間に壁を作っていました。友達という方がもっと楽しいと感じ、教会に行くなんて考えもしませんでした。元に戻れたのは宣教師のおかげです。宣教師は、どのような目標を設定したらよいか、どうすればもっと家族と親しくなれるかについて教えてくれました。そして何よりも大切なこと、つまり神について教えてくれたのです。宣教師のおかげで、自分が神の目から見て大切な存在であることを理解できるようになりました。



フィージー・スバ伝道部、
サマンサ・セイコ姉妹、
23歳

家族の中の一人が孤立し、教会に行かなくなってしまおうということがどういうことか、わたしは知っています。そのようなときにどう対処すればよいのでしょうか。キリストが一人一人を愛してくださっているように、純粋な愛を持つことが大切です。証をしてください。そして愛していると伝えるならば、弟さんの心に触れることができるでしょう。弟さんを愛し、赦すことは難しいかもしれませんが、あなたやあなたの家族がそのような強さを持てるように祈ってください。



ワシントン州
バンクーバー西ステーク、
リッジフィールドワード、
アリッサ・ハンセン、
17歳

弟さんのように、自分から問題に取り組もうとしない人を助ける最良の方法は、その人のために断食して祈ることです。また、聖文を読まない人にとっては、あなたの模範がいちばん力強い聖典になります。弟さんのことを心配している指導者や友達に助けを頼んでください。このような問題は、身近な家族より第三者の方が冷静に判断できることがよくあるのです。



ブラジル・ビトリアステーク、
ビトリアワード、
ゲルタ・ツビアテス、
20歳

「質疑応答」は青少年を対象としており、様々な国の青少年からの幅広い提案を掲載したいと願っています。2003年7月15日までに、ご意見をお送りください。あて先は次のとおりです。

Questions and Answers 05/03,
Liahona, 50 East North Temple Street,
Salt Lake City, UT 84150-3223, USA,
またはEメールで cur-liahona-imag@ldschurch.org までお送りください。パソコン、手書き、いずれでもけっこうですが、手書きの場合は、かい書で読みやすくお書きください。言語は問いません。住所、氏名、年齢、所属ステーク/地方部、ワード/支部を明記のうえ、写真を同封してください。ただし返却は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

質問——伝道と大学の資金を得るためにお金を稼ぐ必要があります。教会では安息日に働くべきでないと教えていますが、わたしにできる仕事はほとんどすべて、日曜日に働かなければなりません。どうしたらいいでしょうか。■

御存じでしたか？

家庭の夕べを導入する

1915年4月、大管長会のジョセフ・F・スミス、アンソン・H・ランド、チャールズ・W・ペンローズは、家庭の夕べを正式に導入



しました。家庭の夕べは1915年6月号の『インプルーブメント・エラ』(Improvement Era)で、全世界の教会に紹介されました。「すべての教会員の方々に、『家庭の夕べ』をお始めになるよう、心からお勧め

します。」大管長会の言葉です。「『家庭の夕べ』の時間になったら、父親と母親は家の中で、息子たち、娘たちを周りに集めてください。そして、主の言葉を教えてください。……『家庭の夕べ』では、祈りをささげ、賛美歌などを歌い、楽器を演奏したり、聖文を読んだり、家族の問題について話し合ったりしてください。福音の原則や日常の道德問題の中から、何か選んで具体的に教えてください。また、子供たちに責任を果たすように教えてください。両親に対する責任、家庭での責任、教会での責任、社会に対する責任、そして、祖国に対する責任の中から、必要なことを教えてください。」

大管長会は次のような言葉で話を終えています。「聖徒たちがこの勧めに従うなら、豊かに祝福されると約束します。家庭の愛が深まり、子供たちは親の言うことをもっと素直に聞くようになります。イスラエルの若者たちは、心の中にある信仰をさらに強めることができます。それだけではありません。イスラエルの息子、娘たちは、至る所で邪悪な道に誘い込もうとする様々な誘惑を撃退できるようになるのです。」



あなたの知識を試してみましょう

預言者ジョセフ・スミスの家族は絶えずジョセフを支えました。互いに深く愛し合っていたのです。ジョセフの家族について、あなたはどれほど知っていますか。

1. 預言者ジョセフの両親、つまりルーシー・マックとジョセフ・スミス・シニアは、どのようにして知り合ったのでしょうか。

- a. ジョセフがルーシーの父親の下で働いていた。
- b. ルーシーが兄弟に会うためにパーモント州タンブリッジに行ったとき、ジョセフに会った。
- c. 二人ともマサチューセッツの農家で育ち、近所に住んでいた。

2. 預言者の家族の中で、だれとだれが金版の証人になったでしょう。

- a. ジョセフ・シニア、アルビン、ハイラム
- b. ハイラム、サミュエル、ドン・カルロス
- c. ジョセフ・シニア、ハイラム、サミュエル

3. 預言者ジョセフ・スミスは、兄弟の中のだれかを次のように語りました。その兄弟とはだれのことでしょう。

「〔 〕は、子羊のように穏やかです。そして、どんな務めに対しても誠実です。一言で言うと、キリストのように従順で、キリストのように謙遜な人です。」(History of the Church, 第2巻, 338)

- a. アルビン
- b. ハイラム
- c. サミュエル

指導者へのヒント

あなたは、教会のクラスで、会長会の一員ではないかもしれませんが。学校でも何かの役員として活躍しているわけではないかもしれません。しかし、だれかがあなたを見て、あなたのようになりたいと思っている可能性はあります。友達や兄弟や姉妹の模範になることを一つの目標にしてください。従順の模範、親切の模範、キリストのような愛の模範となるのです。



上から—絵/ポール・マン。コンピューター画像/ランドール・J・ピックストン。大管長会の写真/末日聖徒イエス・キリスト教会記録保管庫の厚意により掲載。写真/クレグ・ダイヤモンド、写真はイメージです。

『リアホナ』 2003年6月号 の活用法

レッスンのためのアイデア

●「家族会議——バラード長老夫妻との対談」12ページ——家族会議の大切な目的の一つは、物事を決める際に、家族全員にその責任の一端を担う機会を与えることです。あなたの家族が、互いにこうしてほしいと訴え合うのではなく、協力して解決策を見いだすために具体的に何ができるか話し合ってください。

●「わたしの父親たち」22ページ——教会の青少年の中には、理想とは懸け離れた家庭環境で育つ若人もいます。こうした状況にある若人が、天の御父の愛と関心を認識できるように教会指導者はどのような助けができるのでしょうか。

●「結婚を支える堅固な土台」34ページ——幸福な結婚生活の基を築くうえで活用できる4つの原則について話し合ってください。どのようにして、これらの提案を生活に当てはめることができるのでしょうか。

●「たがいに愛し合いなさい」F2ページ——トーマス・S・モンソン副管長は、ある家族について話しています。この家族は、大切なことを忘れた監督に腹を立てることもできました。しかし監督を赦したのです。この話をともに読み、悪意を持ち続けるのではなく赦すことが求められるのはどのような場合か話し合ってください。

今月号に採り上げられているテーマ

Fは『フレンド』の略

愛	34, 44
贖い	18
安息日	40
イエス・キリスト	18, F6
永遠の見地	40
教え	48
親としての務め	2, 12
家族関係	12, 22, 26, 30, 44, F15
家族会議	12
家族歴史	30
家庭の夕べ	2, 7, 47, 48
家庭訪問	25
感謝	40
教会歴史	47
結婚生活	34
指導性	22, 47, 48
十字架の刑	18
従順	34, 40
初等協会	F4
信仰	40, F12
神殿と神殿活動	40, F16
新約聖書	18, F6
救いの計画	F4, F15
青少年	25
備え	7, 25
パートメンバー	30
ひとり親	12
フェローシップ	44
復活	F6
ホームティーチング	6
守り	40
赦し	F2
預言者	26



配送センターからのお知らせ

『家庭の夕べアイデア集』(31106 300)が多くの言語で入手できることを御存じですか。この本には、レッスンの具体例や活動のアイデア、そして家庭の夕べをより充実させる様々な提案が盛り込まれています。

写真/ケリー・ラーセン、写真はイメージです。
緑取りのデザイン/フィリス・ラッチ



「心を先祖に向ける」デレク・J・ヘグステッド画

「見よ、マラキの口を通して語られた時がまさに来た。」……先祖の心を子孫に、子孫の心を先祖に向けさせ[るためである。]」（教義と聖約110：14-15）



「年齢や結婚しているかどうかにかかわらず、
また家に幼い子供がいるか、皆巣立って行ったかにかかわらず、
家庭の夕べによって家庭での一致と愛が深まります。

家庭の夕べはあらゆる人のためにあるのです。」

第二副管長 ジェームズ・E・ファウスト

「家庭の夕べによって生活を豊かにする」2ページ参照